

令和 3 年度使用教科用図書の採択について

標題の件について、次のとおり教育委員会の議決を求める。

令和 2 年 7 月 3 0 日

富田林市教育委員会
教育長 山口 道彦

1. 内容

別添のとおり

2. 参考資料

富田林市立中学校教科用図書選定委員会答申
「令和 3 年度使用 教科用図書選定資料 中学校用」

児童生徒の実態により、下学年、文科省著作の教科書では指導が困難と判断致します。

つきましては、学校教育法附則第9条による教科用図書として下記一般図書を採択下さいますよう宜しくお願い致します。

(1/2)

児童名	学年	教科	文字サイズ	理由	備考
A	6年	国・社 ・算・理	22pt	本児は平成30年7月10日に近畿大学医学部附属病院にて斜視の手術を受けた。また、WISC-IV検査においても、読みとぼしや行とぼし、誤理解、文字のはみ出しなどの読文書字に課題が見られた。これらの視機能面の課題から、集中力の持続が困難となっている。現在、国・算のみ拡大教科書を使用しており、理科のグラフや社会の資料は拡大コピーなどの支援で対応しているが、拡大教科書の使用により、より学習効果の向上が期待できることから、その使用を希望するものである。	
B	6年	国	22pt	斜視があり、文字がぼやけて見えるなどするため、読みとぼしや誤読がみられることから、令和2年度より拡大教科書を使用している。本児の視機能の課題を勘案したところ、引き続き拡大教科書を使用することで、学習効果が期待できると考え、その使用を希望するものである。	
C	6年	国・算	22pt	現在は、大阪医科大学附属病院にてビジョントレーニングを行っている。また、学校や家庭では、拡大教科書を使用すること以外に、教科書にルビを打ったり、拡大コピーをしたりするなどの支援を行っている。拡大教科書の使用により、一定の学習効果が得られていると考えられることから、引き続き拡大教科書の使用を希望するものである。	
D	6年	国・社・算 ・理・英	26pt	LDセンターの医師による視機能検査の結果、発達性のディスレクシアと診断された。現在は、拡大教科書に加え、デジタル機器や拡大コピーなども活用しており、一定の学習効果が得られていると考えられることから、引き続き拡大教科書の使用を希望するものである。	
E	6年	国・算	26pt	LDセンターの医師による視機能検査の結果、発達性のディスレクシアと診断された。現在は、デジタル機器や拡大コピーなども活用しており、一定の学習効果が得られていることから、拡大教科書の使用を希望するものである。	

生徒名	学年	教科	文字サイズ	理由	備考
F	1年	国・数	22pt	平成28年に行ったK-ABC、WISC-IVの検査では、読み、書き、計算において、学習の遅れが確認できた。特に、文章を読むことに課題があり、読みとばしや誤読が多い。現在、小学校でも拡大教科書を使用しており、学習効果の向上が確認されていることから、中学校進学後も拡大教科書の使用を希望するものである。	
G	1年	国・算	22pt	本児は、眼科にて心因性の視覚障がいと診断を受けた。過去の発達検査においても、視覚優位という結果が出ている。現在も、不安が高まると、文章を読む際に読みとばしや誤読がある。中学進学にあたり、拡大教科書を使用することにより、不安の解消につながり、学習意欲の向上が期待できると考え、その使用を希望するものである。	
H	2年	国・数・理 ・英・道	18pt	堺清恵会LDセンターにおいて、読み書きスクリーニングに関するアセスメントを受けた結果、単語の速読力や音読力、形合わせ力、形うつし力が低く、小さな文字で書かれている文章を読んで内容を理解することが困難であると判明した。また、WISC-IVの検査結果からも、眼球運動の課題から、特に縦書きの文章読解に困難があることも判明した。これらのことから、引き続き、拡大教科書を使用することにより、更なる学習効果が期待できるため。	
I	2年	国・数・理 ・英・道	22pt	本生徒は注意力や集中力が散漫になりやすく、周囲からの刺激に惑わされやすい。文章を読む際も、誤読や読みとばしをしてしまうこともある。現在、眼鏡を使用しているが、本生徒の視力・視機能の課題を勘案し、より学習効果の向上が期待できると考え、引き続き、拡大教科書の使用を希望するものである。	

令和2年7月30日

富田林市教育委員会
教育長 山口 道彦 様

富田林市立中学校
教科用図書選定委員会
委員長 植野 均

令和3年度使用中学校教科用図書の選定について（答申）

本選定委員会は、令和2年4月教育委員会会議において、諮問のありました「令和3年度使用中学校教科用図書」の選定について審議を進め、その結論を得ましたので、別添「選定資料」を添付し、答申いたします。

令和3年度使用

教科用図書選定資料

中学校用

国語	1
書写	2
地理・地図	3
歴史	4
公民	5
数学	6
理科	7
音楽・器楽	8
美術	9
保健体育	10
技術・家庭	11
英語	12
道徳	13

※教科書の配列順は発行者番号順

国語

教科用図書選定資料

教科書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名
	東京書籍	新しい国語	三省堂	現代の国語	教育出版	伝え合う言葉 中学国語	光村図書	国語
目標・内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に既習事項と学習事項が整理され、領域別の学習目標が明示されている。 ・巻末には学習内容が領域別に整理され、3年間の学習を見直し、振り返ることができる。 ・「言葉の力」をつけ、主体的・対話的で深い学びが実現できるように教材が配置されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の領域別教材一覧により、各分野でのつきたい力や目標が明示され、見直しを持って学習できるようになっている。 ・言語感覚を豊かにするために、様々な分野の現代的な教材が取り扱われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭で、観点別に教材が分類され、言語活動や学習内容が端的に示されている。 ・教材の末尾に、学習内容を確認できる「みちしるべ」がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に観点別一覧表が掲出され、学習教材が分類されていることで、学習内容や身につけたい力が把握できるようになっている。 ・言語感覚を豊かにする学習に生徒が主体的に取り組めるよう、国語科の目標達成に必要な内容が取り扱われている。 ・文章教材の冒頭に目標を明示し、後の学習ページでは思考の過程と目標に対する振り返りが丁寧に示されている。 ・情報を収集、整理し思考を深めるための教材が年間を通して配置されている。 				
取人権の扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsに資する教材が取り扱われている。 ・国際理解や平和、障がい者理解など、人権尊重について配慮された内容になっている。 ・メディアについて考えを深められる教材が取り扱われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平和、防災、パラリンピックなど、幅広いテーマを扱っている。 ・SNSによるコミュニケーションについて考えを深められる教材が取り扱われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsの視点を多く取り入れて教材を配置している。 ・メディアリテラシーに関する教材や、子どもの権利に関する教材が取り扱われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsに関連するテーマを幅広く取り扱っている。 ・情報教育に関する教材を配置し、メディアリテラシーについて自己の考えを深められるような構成になっている。 ・戦争・平和について考える教材が各学年に配置されている。 ・人権尊重に関する多様な価値観が紹介され、考えを深められる内容になっている。 ・内容に関して、人権教育の専門家による校閲を受けている。 				
内容の程度	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の関心意欲に即して、発達段階に応じた基礎的な学習内容が、適切に取り扱われている。 ・学年の初めに導入のページがあり、無理なく学習が進められるように配慮されている。 ・読み続けられている定番の読み物教材が、系統的に収められている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の関心意欲に即して、発達段階に応じた「読み方を学ぶ」ことのできる内容となっている。 ・「学びの道しるべ」によって学習の流れが明示され、振り返りでは生徒が学習内容を確認しやすいようにキーワードが提示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の関心意欲に即して、発達段階に応じた適切な内容となっている。 ・基礎的な内容から、発展的な内容の教材がバランスよく配列され、生徒の学びが広がるように工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な内容から、自らの考えを表現する発展的な内容まで取り扱われている。 ・想像力を豊かにする文学的文章や、論理的思考力を育む説明的文章など、読み物教材が充実し、無理なく学びが深まる工夫がなされている。 ・グラフや表のある説明的文章が取り扱われ、資料を読んで分析し、多様な読みにつながる内容になっている。 				
組織・配列	<ul style="list-style-type: none"> ・各領域とも偏りなく、発達段階を考慮した系統的な教材配置がなされている。 ・巻頭にある1年間の学びの図版により、見直しを持って学習に取り組めるように工夫されている。 ・各学年の資料編では古典教材が充実しており、生徒の興味を引き出し、学びを広げられるように配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各領域とも偏りなく、系統的な教材配置がなされている。 ・中学生にとって親しみやすい作品が精選され、配列されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材の前に学び方を示す「学びナビ」を配置し、主体的な読みを深め、学習の目標を確認できるようになっている。 ・巻頭に学びを深めるキーワードを提示し、SDGsとの関連を示唆している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の目標に沿って文章教材とそれに関連させて、書く、話す・聞く教材が配置され、学びがスムーズに運ぶように工夫されている。 ・自主的な学習を促す解説の掲載によって理解が深まり、1年間の学習の流れが把握できる工夫が見られる。 ・グラフや図を含めた複数の情報を読み解き、主体的に活用し発信する力の育成を意識した構成になっている。 ・単元の末尾では、自分の言葉で学習の振り返りを書く活動を通して、主体的・対話的で深い学びを実現できるようになっている。 				
創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉に関する身近な場面をマンガで描くことで、課題に気づかせ、その課題に関連した力をつけ、さらにその力を生かして次の教材に向かえるように工夫されている。 ・身近な使用場面が例に挙げられ、「言葉の力」を高めるために配慮されている。 ・チェーホフの作品など多様な補助教材や、学習した作品に関連する読書案内など、読書活動への橋渡しを意識した構成になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な作家のエッセイが取り上げられ、読書への興味を高められる工夫が見られる。 ・小学校から中学校への学習移行が円滑に進むような教材を取り扱っている。 ・複数の情報を関連づけて考える単元が各学年にあり、情報を比較して捉え、それらを基に考えを表現する内容になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校から中学校への学習移行が円滑に進むような教材を取り扱っている。 ・学びリンクには、補足の学習内容やワークシートが収められており、生徒の自習学習を促す工夫が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・例示や図解によるわかりやすい解説や、思考を誘う話型や文型を提示し、学んだことをトライアル問題で確認できる仕組みになっている。 ・対話力を育むために、「主体的に聴く力」をつける教材が3年間系統立てて掲載されている。 ・巻頭に「思考の地図」を配置し、深い学びにつながる工夫が見られる。 ・語彙力を高めるために、教材の振り返りとして学習内容に関連する言葉を巻末に挙げている。 ・豊富な図版資料や「四季のしおり」などで日本語特有の美しさを伝えている。 				
発展的な学習	<ul style="list-style-type: none"> ・各教材のあとに「言葉」の演習問題がついており、語彙力を高める工夫がされている。 ・資料編「言葉を広げよう」では1, 555の語彙を提示し、語彙指導の充実が図られている。 ・QRコードの掲載があり、個人で映像資料などが見られることで、学びがさらに広がる工夫が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・古典作品に関する資料が充実しており、歌舞伎や落語などの古典芸能にも親しめるよう、写真で分かりやすく取り上げている。 ・辞書を引く習慣を付ける教材、英語と比較する教材など、語彙力を高められる配置になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発展的な学習や家庭学習の手引きとしても使える「言葉の自習室」が用意されている。 ・小学校からの学び、高等学校への学びをつなぎ、生涯にわたる言葉の力をつけられるよう、配慮された内容になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や社会との関わりに気づき、キャリア教育や発展的な学習活動に結び付けられるように配慮されている。 ・作者の紹介や話し合い活動の映像資料などにすぐアクセスできるよう、随所にQRコードが示されている。 ・読書を身近に感じられるように中学生が主人公の本の一部が掲載されている。 ・百人一首を取り扱っており、学習活動に活かしやすい工夫が見られる。 				

書写

教科用図書選定資料

教科書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名
	東京書籍	新しい書写	三省堂	現代の書写	教育出版	中学書写	光村図書	中学書写
目標・内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 冒頭で小学校の学習内容と関連させて、書写学習の目的を確認している。 学年ごと、項目ごとに学習事項を明確に示している。 書写を生活に生かす場面を設定し、学びを広げる工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 冒頭で、3年間の学習の流れや書写の基本的な心構えを見開き一ページで提示しており、生徒にとって目標を確認し、生活に生かすイメージを描きやすいものになっている。 单元ごとに学習目標と学習事項が分かりやすく提示されている。 実際に書くページがあり、学習内容を確認しながら演習できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 冒頭に新学習指導要領で求める書写力を図で示し、3年間の学習内容が一覧できる。 各教材に学習の目標・振り返りが示され、生徒の主体的な学習活動を促している。 実際に書くページがあり、学習内容を確認しながら演習できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 3年間の学習内容、目標が明確に示されている。各教材にも学習の目標・振り返りが示され、生徒の主体的な学習活動を促している。 興味をもって学び、書く力を身につけ、学びが生かせるように教材が設定されている。 書写の標準時間数に合わせた学習内容が盛り込まれ、効果的に書く力を身につけるよう工夫されている。 				
取人扱権いの	<ul style="list-style-type: none"> 文字の成り立ちや歴史・用具などについて、近隣国との文化交流についてふれ、国際理解について配慮している。 世界の文字文化にも触れられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 文字や毛筆の用具の歴史にふれ、自他の国の文化を尊重する態度を養う配慮がなされている。 文字に携わる人の思いを取り上げ、文字と人の関わりを考えるきっかけをつくっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 文字の歴史などを学習することにより自他の国の文化を尊重する態度を養う配慮がなされている。 平和について考える作品の写真が、取り扱われている。 読み書きに不慣れな人の手紙も取り上げている。 	<ul style="list-style-type: none"> 書の歴史や漢字の成り立ちの学習を通し、近隣諸国との文化的な交流について学び、国際的視野に立って他国を尊重する態度を養うよう配慮されている。 SDGsの取組みとしてユニバーサルデザイン書体についてのページを設けている。 作品例でアイヌの文化を取り上げている。 				
内容の程度	<ul style="list-style-type: none"> 楷書、行書とも基礎をふまえて生活に関連付けて学びを深める工夫がある。 学習したことを学校行事や実生活に生かせるように具体例が提示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な内容から、応用・実用的なものまで適切に取り扱われている。 国語だけではなく、他教科や学校行事などに関連して書を生かす具体例が提示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 実生活で役立つ書写力が育成できるように構成されている。 学習の進め方が学年単位で分かりやすく示されている。 国語をはじめ各教科の書く活動につながる教材がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 楷書から行書の変化を分かりやすく示している。 生徒の発達段階に応じて、日常生活に必要な書く力が身に付く教材を収めている。 				
組織・配列	<ul style="list-style-type: none"> 各領域とも偏りなく発達段階を考慮して、組織・配列されている。 国語で学習した内容を生かして書写学習ができるように関連性を持たせた教材となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 楷書、行書、それを生かした実用的な場面が適切に組織・配列されている。 教材ごとに学習内容を確認し、書いて身につけ、学びを応用し、広げる流れとなっている。 国語の教科書と密接に連携したつくりになっている。 注、挿絵、写真、図表などが適切に使われている。 	<ul style="list-style-type: none"> 一本の木にたとえ、書写での学習目標を分かりやすく示している。 基礎的な知識・技能を習得し、学習活動や日常生活で書写を生かす場面の提示まで、幅広い内容が適切に配列されている。 小学校、高校との連携を意識して配列している。 各教科の「書く」活動と連動した教材を配置している。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元の構成が、基礎・学習・資料と三部構成になっており、教材が系統的に配置されている。 文字の整え方を考え、実際に書いて習得し、日常生活に生かすように教材が配置されている。 小学校、高校との連携を意識して配列している。 硬筆の練習帳があり、学んだことが日常生活に生かせるように工夫されている。 単元の間にコラムがあり、生徒が興味関心を持てる内容になっている。 				
創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> B5のワイド版で構成されており、写真や図を多く取り入れ、視覚的に分かりやすくしている。 QRコードを提示し、運筆動画が見られるようになっている。 UDフォントを用い、色使いにもユニバーサルデザインに沿った配慮がある。 単元の終わりにまとめとして「書写テスト」があり、知識の定着がはかれる。 	<ul style="list-style-type: none"> カラーユニバーサルデザインを考慮した色使いである。 文字の変遷が分かりやすく説明されている。 QRコードを提示し、姿勢と筆の持ち方などが見られるようになっている。 生徒が関心をもつ歌詞やポスターを取り上げて親しみやすくする工夫が見られる。 マークによって、そのページが何をやるのが分かりやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> B5のワイド版で視覚的配慮がある。 UDフォントを使用し、カラーユニバーサルデザインを考慮した色使いである。 QRコードを提示し、運筆動画が見られるようになっている。 見開き1ページで一単元を学習できるレイアウトになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> カラーユニバーサルデザインを考慮した色使いをしている。UDフォントを使用している。 「文字の変遷」が分かりやすく説明されている。 QRコードを読みとれば、準備の仕方から運筆、学習に役立つ資料などが豊富に掲載されていて、深い学びにつなげることができる。 別冊の書写ブックがついており、教科書と連動して、硬筆練習ができるようになっている。 朱書きの運筆の確かめで、筆の位置が示されていて分かりやすい。 				
補足的な学習・発展的な学習	<ul style="list-style-type: none"> 巻末の書写活用ブックで情報を適切に伝えるためにどんな方法を用いるのがよいか、細かく実用例が示されている。 巻末に辞書のような常用漢字の楷書・行書例が配置されている。 「生活に広げよう」のコーナーで例に挙げられている内容が、地域や社会とのつながりを意識したものとなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会の中で文字に関わる人を紹介し、文字文化と人の思いにふれられるようにしている。 手紙の書き方、新聞の書き方など、表現活動に使える内容が分かりやすく取り扱われている。 1年時と3年時に文字を書くページがある。 巻末に補助の手本教材と常用漢字の楷書・行書体を辞書のように載せている。 生活の中で見る筆ペンやペン字、硬筆の写真が紹介されていて、見本にできる。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻末に常用漢字の楷書・行書体を辞書のように載せている。 日本建築と書や歴史上の人物の書などはば広く書を取り上げている。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻末に常用漢字の楷書・行書体を辞書のように載せている。 身近な所で用いられている様々な書体に注目した教材がある。 学習を踏まえて自分の好きな言葉を自分なりに表現したり、願書などに書写を生かしたりする教材が多く配置されている。 				

地理

教科用図書選定資料

教科書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名
	東京書籍	新しい社会地理	教育出版	中学社会 地理 地域にまなぶ	帝国書院	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土	日本文教出版	中学社会 地理的分野
目標・内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が主体的に学べるように、豊富な資料が盛り込まれている。 編、章、節などの最初に子どもが興味を持つ写真が掲示されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 生徒が主体的に学べるように、豊富な資料が盛り込まれ、よく工夫されている。 領土問題など、現代の課題に添えており学習目標が明確である。 		<ul style="list-style-type: none"> 生徒が主体的に学べるように、豊富な資料が盛り込まれ、よく工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 生徒が主体的に学べるように、豊富な資料が盛り込まれている。 	
取人扱権の	<ul style="list-style-type: none"> 平和・人権尊重を考慮した内容が適切に取り扱われている。 すべての生徒にとって使いやすくなりやすいように、カラーユニバーサルデザインが採用されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 平和・人権尊重を考慮した内容が適切に取り扱われている。 人権について教材や参考資料が豊富に紹介されている。特に国際化の中で、多文化共生について考慮されている。 すべての生徒にとって使いやすくなりやすいように、カラーユニバーサルデザインが採用されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 平和・人権尊重を考慮した内容が適切に取り扱われている。 世界の料理など多文化理解につながる写真が豊富に掲載されている。 すべての生徒にとって使いやすくなりやすいように、カラーユニバーサルデザインが採用されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 平和、人権尊重を考慮した内容が適切に取り扱われている。 大阪市生野区のコリアタウンに関する内容が掲載されている。 すべての生徒にとって使いやすくなりやすいように、カラーユニバーサルデザインが採用されている。 	
内容の程度	<ul style="list-style-type: none"> ルビが多く用いられていて、配慮されている。 写真、挿絵、図、表などの資料について、見やすく、比較しやすいよう配置され、生徒の興味・関心を引き出す内容になっている。 		<ul style="list-style-type: none"> ルビが多く用いられていて、配慮されている。 写真、挿絵、図、表などの資料について、見やすく、比較しやすいよう配置され、生徒の興味・関心を引き出す内容になっている。 【読み解こう】で、地図の見方を細かく学習できる。 世界各地のそのページで重要な項目の図が大きく採用されているため、理解しやすい。 		<ul style="list-style-type: none"> ルビが多く用いられていて、配慮されている。 写真、挿絵、図、表などの資料について、見やすく、比較しやすいよう配置され、生徒の興味・関心を引き出す内容になっている。 		<ul style="list-style-type: none"> ルビが多く用いられていて、配慮されている。 基礎的な学習内容が適切に扱われており生徒が主体的に学習できるように配慮されている。 【地理+α】で発展的な内容の説明に適している。 統計資料の年度が比較的新しい。 	
組織・配列	<ul style="list-style-type: none"> 各領域とも偏りなく発達段階を考慮して組織・配列がされている。 地勢図にイラストが載っており、調べ学習に活用しやすい。 		<ul style="list-style-type: none"> 各領域とも偏りなく発達段階を考慮して組織・配列がされている。 地勢図が非常に大きく、世界を州別に大観できる。また、まとめては始めと同じ地勢図が用いられ、理解しやすい。 関連ページが右下に書かれていて、予・復習がしやすい。 		<ul style="list-style-type: none"> 各領域とも偏りなく発達段階を考慮して組織・配列がされている。 各章の始めは2ページを使って大きな写真を何枚も載せていて、地域の感覚が捉えやすい。 		<ul style="list-style-type: none"> 各領域とも偏りなく発達段階を考慮して組織・配列がされている。 気候区分が細かく載っているため、気候と地域の生活の関連性が一貫して比較しやすく捉えやすい。 	
創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> 巻末「主な国のあらまし」では、産業別人口割合がグラフ化され、学習活動に活用しやすい。 調べ学習の手引きが分かりやすい。 【スキル・アップ】で資料活用などの地理的技能が身に付けられるように工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 生徒にとって身近な写真が多く使用されている。 持続可能な社会の実現へ向けて、これからの子ども達が地球的課題にたって物事をとらえられるような構成でつくられている。 【地理の技】で資料活用などの地理的技能が身に付けられるように工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 巻頭でSDGsに関連した内容が掲載されている。 【技能をみがく】で資料活用などの地理的技能が身に付けられるように工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 【見方・考え方】と【ふかめよう】が鍵のマークで表しており、学習課題の理解を深める関連性がわかりやすく示されている。 【スキルUP】で資料活用などの地理的技能が身に付けられるように工夫されている。 	
補足的な学習・発展的な学習	<ul style="list-style-type: none"> 章の終わりにまとめの活動があり、「見方・考え方」を働かせながら探求課題に取り組むことができる。 「Dマーク」が用意され、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 【学習を振り返って整理しよう】がステップ別になっており、個々の学習状況に応じて活用できる。 学習コラム【地理の窓】を活用することで発展的な学習となり、多面的・多角的な見方を身につけることができる。 「学びリンク」が用意され、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 【学習課題】が設定され、【確認しよう】【説明しよう】で具体的な振り返りができる。 章の振り返りができる。 「二次元コード」が用意され、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 【確認】は、基礎・基本の確認と発展的な学習に効果的である。 学習内容の理解を助ける【自由研究】のコーナーでは、グラフや図を用いて発展的な学習ができる。 「デジタルマーク」が用意され、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。 	

地図

教科用図書選定資料

発行者名	書名	発行者名	書名
東京書籍	新編 新しい社会地図	帝国書院	中学校社会科地図
<ul style="list-style-type: none"> 生徒が興味を持って理解できるように新しい資料が積極的に取り入れられている。 基本資料と学習内容に沿ったテーマ別資料に分けられ、また「さくいん」を設け、見たい資料を簡単に探せるようになっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 生徒が興味を持って理解できるように新しい資料が積極的に取り入れられている。 世界の各州すべてに鳥瞰表現の地図が描かれ、各州の地域的特色をより大観し、概略をつかみやすくなっている。 	
<ul style="list-style-type: none"> SDGsや貧困、難民問題など、現代的な諸課題を捉えた資料が取り扱われている。 		<ul style="list-style-type: none"> 防災に関する資料が充実しており、災害から身を守ることを生徒自身が考えられる内容になっている。 広島市の中心部の地図がより具体的であり、平和教育で活用できる。 	
<ul style="list-style-type: none"> 基本的な地図はすべて含まれており、生徒の発達段階に応じた適切な地図になっている。 生徒の興味関心を高める写真や資料が豊富に掲載されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 基本的な地図はすべて含まれており、生徒の発達段階に応じた適切な地図になっている。 資料中の凡例の項目数が適量で、地理的事象から空間的な規則性や傾向性がとらえやすく、見やすい資料となっている。 統計やさくいんは行間にゆとりができ、見やすくなっている。 	
<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な学習内容の習得に必要な地図、資料が組織配列されており、興味関心を高める効果がみられる。 自然災害を扱うページでは、日本近辺のプレートの境界を示すなど、理科の学習内容と関連付けることができるようにしている。 		<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な学習内容の習得に必要な地図、資料が組織配列されており、興味関心を高める効果がみられる。 自然災害を扱うページでは、日本近辺のプレートの境界を示すなど、理科の学習内容と関連付けることができるようにしている。 	
<ul style="list-style-type: none"> 色が薄いために、目に優しく、生徒が疲れにくい。 歴史や公民にリンクした資料があり、歴史的分野・公民的分野でも利用できる。 巻末の「都道府県の産品と名所、お国自慢」は日本の各地方の学習で活用できる。 		<ul style="list-style-type: none"> 各地域の一般図に社会的な見方・考え方を働かせる「地図活用」が設けられている。 五街道など江戸時代の土地利用のようすがわかりやすい。 地名を手話で表すコーナーは生徒の興味関心を引きつける上、インクルーシブ教育の点からも有効である。 	
<ul style="list-style-type: none"> 州ごとに地球のどの部分かを示す位置図が掲載されており、生徒の地理感覚を養う上で有効である。 		<ul style="list-style-type: none"> 州ごとに地球のどの部分かを示す位置図が掲載されており、生徒の地理感覚を養う上で有効である。 サイズが大判化となり、さらに見やすくなりやすい。 修学旅行や校外学習でも活用できる資料や都市図が豊富に掲載されている。 	

歴史

教科用図書選定資料

教科書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名
	東京書籍	新しい社会 歴史	教育出版	中学社会 歴史 未来をひらく	帝国書院	社会科中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き	山川出版	中学歴史 日本と世界	日本文教出版	中学社会 歴史的分野	育鵬社	[最新]新しい日本の歴史	学び舎	ともに学ぶ人間の歴史
目標・内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領をふまえ、適切な内容となっている。 「持続可能な社会の形成に参画するために、現在の背景が理解できるような」内容になっている。 各単元で学習課題が設定されており、見直しをもって学習ができる。単元のねらいがわかりやすい。 		<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領をふまえ、適切な内容となっている。 「歴史に学び、未来をひらくために、主体的に歴史を考える」内容になっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領をふまえ、適切な内容となっている。 「歴史をつくってきた多様な人々の姿から、未来を考えていける」内容になっている。 各章のはじめの「タイムトラベル」で、学習する時代の人々の様子がイメージしやすい工夫がされている。 		<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領をふまえ、適切な内容となっている。 「流れをつかむ」「歴史を考える」「世界史を知る」という3つの観点から歴史を学ぶ力を養う内容になっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領をふまえ、適切な内容となっている。 ページ端に時代区分を示す年代スケールが書かれてあり、歴史的な流れの中で、できごとを考えることができるようになっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領をふまえ、適切な内容となっている。 「国民としての自覚をもって、国際社会で主体的に生きる力を育てる」ための内容になっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領をふまえ、適切な内容となっている。 巻末の年表で、日本の社会、政治、経済、文化、宗教の流れや関連する資料を掲載するとともに、同時代の世界の動きを見開きの形にして示している。 	
取人扱権の	<ul style="list-style-type: none"> 「女性コラム」が掲載されていて、各時代の女性の様子を説明している。 部落問題について、室町、江戸、明治、大正の各時代でふれられている。 全国水平社、アイヌ民族について、深く取り扱っている。 「解体新書」の説明に、差別された人々が解剖したことが書かれてある。 		<ul style="list-style-type: none"> 部落問題について、室町、江戸、明治、大正の各時代でふれられている。 中世の働く女性や子どもたちについてふれられている。 在日韓国朝鮮人についての歴史的経過が紹介されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 本文中コラム「未来にむけて」の人権コーナーの内容が充実している。 部落問題について、室町、江戸、明治、大正の各時代でふれられている。 多面的に日本の歴史をとらえる視点から、琉球とアイヌの人々の歴史を一貫して取り上げている。 		<ul style="list-style-type: none"> 部落問題について、江戸、明治、大正の各時代でふれられている。 「琉球の歴史と文化」や「アイヌ民族の歴史と文化」について深く掘り下げている。 		<ul style="list-style-type: none"> 部落問題について、室町、江戸、明治、大正の各時代でふれられている。 「淡染一揆」を新しい世の中をめざして人々」として取り上げ、水平社宣言起草者の西光万吉についてもふれられている。 「女性史コラム」を配置し、各時代の女性の姿を紹介している。 		<ul style="list-style-type: none"> 全国水平社に関わって、部落差別についての記載と資料が詳しい。 「なでしこ日本史」というコーナーで女性が活躍した歴史をシリーズで紹介している。 		<ul style="list-style-type: none"> 古代から現代にわたって他国との交流や平和についての歴史的事項が取りあげられている。例えば、朝鮮通信使や国連平和維持活動などが紹介されている。 	
内容の程度	<ul style="list-style-type: none"> 本文は適量で、各章の始めのイメージ画(年表とイラスト)がわかりやすい。 本文の内容を深める資料が多い。 		<ul style="list-style-type: none"> 本文は適量でルビが多くわかりやすい。 単元ごとの振り返りが2ページ、年代のスケールがあり、単元名がユニークである。 学習する歴史上の人物が、小学校で既に学習したものと中学校で新たに学習するものと分けられている。 		<ul style="list-style-type: none"> 本文は適量でルビが多くわかりやすい。 「解説」コーナーで、理解しづらい用語を丁寧に解説している。 本文中の「人物コラム」のコーナーで、さまざまな立場の人々を紹介している。 		<ul style="list-style-type: none"> 本文は、見出しの課題に対して、根拠を示しながら明瞭に説明されている。 本文の説明が非常に詳しく丁寧である。 		<ul style="list-style-type: none"> 本文は適量で、ルビも多くわかりやすい。 各単元において、「学習課題」を明らかにし、終末の「確認」で課題に対する説明をして、単元をふりかえるように配慮されている。 時代の特色のまとめを生徒自身でまとめる活動が取り入れられている。 		<ul style="list-style-type: none"> 資料や図表、写真の配置が見やすくレイアウトされている。 各ページとも資料が豊富で、視覚的に歴史を学ぶことができる。 人類の出現について詳しい内容が書かれてある。 		<ul style="list-style-type: none"> 生徒の発達段階に応じた文の量とわかりやすい表現で記述されており、歴史的現象の意味や意義、事象間のつながりが丁寧に説明されている。 	
組織・配列	<ul style="list-style-type: none"> 定番の史料、写真が多い、特に人物紹介が多くされている。 章の初めに導入活動があり、章の終わりのまとめ活動が充実している。章ごとの復習ができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 定番の史料、史料解説(国宝など)も詳しい。 「ふりかえる」ステップ1で、本時に学習した一番のポイントをおさえるようになっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 単元の導入資料が大きく、インパクトがあり、そこから考えるしかけが工夫されている。 単元の終末に「学習課題」にあわせた「確認」と「説明」を設け、知識の習得と思考力・表現力を育てるようになっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 単元ごとに「ステップアップ」を設け、授業のまとめとさらなる課題探求にむけた発問を付している。 世界の史料は横書き、日本の史料は縦書きで表記することによって、世界史を意識できるようになっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 定番の史料が掲載され、図表もシンプルで見やすい。 どの見開きにも「学習課題」と基本用語を配置し、学習のねらいにそった発問が、導入資料とともに設けられている。 小年表をおくことで、そのページの出来事が、いつ、どのような順番で起こったのかを確認しやすい。 		<ul style="list-style-type: none"> 見開きで1時間の授業ができて、授業の進行管理がしやすくなっている。 資料が載っている教科書の上部に背景色がついており、本文が読みやすくなっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 「歴史への案内」「原始・古代」「中世」「近世」「近代」「二つの世界大戦」「現代」の順番で構成されている。各章のはじめで同時代の世界の様子が見開きで地図とともに紹介され、世界の動きの中での日本をとらえられるよう工夫している。 	
創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> 世界遺産や重要文化財が一目でわかるように工夫されている。 「歴史にアクセス」で補足説明がされている。 キャラクターの会話で主体的に解決するヒントが示されている。 法律の条文が現代語訳されていて、わかりやすい。 欄外で、語句の説明が充実している。 		<ul style="list-style-type: none"> 生徒が興味、関心をもてるよう見開きのタイトルに工夫がある。 「歴史の窓」で興味、関心を広げていくコラムを多く設けている。 年表が見開きですべての時代を見ることができている。 		<ul style="list-style-type: none"> 本文中コラム「未来にむけて」のコーナーでは、自然環境、人権、交流、平和の4つの視点から、未来の社会をつくるために参考となる多様な立場の取り組みを紹介している。 日本と世界のかかわりが一望できるイラスト世界地図を設け、世界の動きと結びつけることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 本文中に、内容を深めるコラムとエピソードを盛り込んだ人物コラムを設け、興味・関心をもてる内容になっている。 章のはじめに、2ページの見開きで、その時代の世界の様子を、地図とイラストで紹介し、広い視野で同時代の世界をとらえるようになっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 各編のはじめに、見開き2ページにわたって写真や資料を示し、資料を読み取る力をつけるとともに、興味・関心を高めよう工夫されている。 「見方・考え方」「深めよう」のコーナーを設け、歴史について考察する力や説明する力が育成できるよう工夫されている。 大阪をはじめとして近畿地方の事例を多く取り上げている。(古市古墳群大阪万博など46項目) 		<ul style="list-style-type: none"> 「なでしこ日本史」で各時代に活躍した代表的な女性を紹介している。 「歴史のターニングポイント」で歴史を自分事としてとらえるよう工夫されている。 歴史絵巻がイラスト風で見やすい資料になっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 全編にわたり、時代の特色について、「時期や年代」「推移」「比較」「相互の関連」「現在とのつながり」などに着目して、「多面的・多角的な考察」や「公正な判断」、「説明・議論」をすることについて工夫されている。 	
補足的な学習・発展的な学習	<ul style="list-style-type: none"> 「チェック」で基本的な内容を、「トライ」で発展的な内容を学習できるようにしている。 「読み取る」は資料やグラフを読み取る学習となるよう構成されている。 教師用指導書、付属DVDのコンテンツが豊富で、教科書にそった授業づくりに生かしやすい。 		<ul style="list-style-type: none"> 「学習課題」「ふりかえる」で基本的な知識や技能が習得できるよう配慮されている。 「ふりかえる」ステップ2では、課題をまとめて説明できる力を育成している。発展的な学習として有効である。 「歴史を探ろう」の特設ページを設け、資料、人物、世界、地域などの学習を深められるよう配慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 節ごとにふりかえりの課題を設け、さらに「章の学習をふりかえろう」のなかで、基礎的な知識の確認と、考えて説明する発展的な課題をできるように工夫している。 「歴史を探ろう」では、学習したことを、地域の視点からとらえ、多面的に学ぶことができる。 特設ページ「多面的・多角的に考えてみよう」では、異なる意見を紹介し、深く考えるようになっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 章末の「まとめ」において、時代ごとに比較したり、因果関係を考えたりすることによって、時代の変化をつかむようになっている。 「歴史へのアプローチ」のコーナーで、幅広いテーマで深く掘り下げる学習ができる。 「地域からのアプローチ」のコーナーで、地域の歴史について、各時代の歴史をふまえて理解することで、さまざまな角度から考えることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 各編の終わりに、「学習の整理と活用」を設け、年表と地図でふりかえりながら、<古代と比較しながら中世の特色をまとめる>など、主体的に考えるように工夫されている。 「先人に学ぶ」「歴史を掘り下げる」(全7テーマ)「でかけよう地域調べ」(大阪空襲など6テーマ)などの特集で、発展的な学習ができるよう配慮されている。 「チャレンジ歴史」のコーナーで、様々な事例に対して自分の意見をまとめ、意見交換する活動を設けている。 		<ul style="list-style-type: none"> 各章末の学習のまとめは、復習と、発展的な学習とともに行うことができる。 「歴史ズームイン」「歴史ビュー」で、詳しい解説があり、学習が深められている。 「歴史のターニングポイント」では、各時代を代表するできごとについて、様々な資料をもとに詳しく掘り下げて考え、議論するよう工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 各単元の「学習のまとめ」では、表や地図の活用により、学習内容を比較させたり関連させたりして、ふりかえられるよう配慮されている。 「歴史への案内4」では、地域の歴史について調べるにあたり、博物館やフィールドワークでの調べ方及び地図でのまとめ方の例を示している。また、様々な発見や疑問が出るように資料を提示することにより、情報の収集や読み取ったことをまとめるよう促している。 	

教科書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名
	東京書籍	新しい社会 公民	教育出版	中学社会 公民 ともに生きる	帝国書院	社会科中学生の公民 より良い社会をめざして	日本文教出版	中学社会 公民的分野	自由社	新しい公民教科書	育鵬社	[最新] 新しいみんなの公民
目標・内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領をふまえ、適切な内容となっている。 「今の課題をつかみ、社会的な見方・考え方を働かせた課題解決的な学習のプロセスを重視する」内容になっている。 「見方・考え方コーナー」を設け、考えを深めていけるようになっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領をふまえ、適切な内容となっている。 「持続可能な社会を創造する力の育成をめざし、対話を引き出す」内容になっている。 見開きの内容の学習課題と振り返りが分かりやすい。 		<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領をふまえ、適切な内容となっている。 「実社会に興味を持たせ、社会参画への意識を高める」内容になっている。 現代社会・政治・経済・国際の4部の導入にイラストを示しており、興味をもちやすい。 		<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領をふまえ、適切な内容となっている。 「新しい時代を担う主権者を育てるために、主体的に学び、学んだことを社会に活かしていく力を育む」内容になっている。 「見方・考え方」コーナーを設け、「学習課題」に向けた手がかりを示すことによって主体的に考えていけるようになっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領をふまえた内容になっている。 歴史的内容の振り返りが多い。 憲法の成立について、詳しく取り扱っている。 		<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領をふまえた内容になっている。 「日本の歴史と文化を語れるグローバル人材を育成するため、社会の課題に向き合い、課題解決のため社会参画する意欲を高める」内容になっている。 国防に関する取扱いに力を入れている。 	
取人扱権いの	<ul style="list-style-type: none"> 「障がい者の雇用」について紹介がある。 部落問題をはじめとする人権課題について、「差別をなくすための努力」についてふれられている。 アイヌ民族の文化についての紹介が豊富である。ヘイトスピーチに対する記述がある。 		<ul style="list-style-type: none"> 部落差別、アイヌ民族への差別、在日韓国・朝鮮人への差別について1時間、男女平等・バリアフリーで1時間の構成で扱っている。 識字学級の取組について取り扱っている。(章末「読んで深く考えよう」) 		<ul style="list-style-type: none"> コラムで人権の内容が充実している。 部落問題や障がい者差別をなくすための手記を紹介し、自分の問題としてイメージできるようになっている。 「障がい者雇用」の実例を紹介している。 ヘイトスピーチやアイヌについて解説している。 		<ul style="list-style-type: none"> バリアフリーについて堺市の例を記載している。(点字加工を施し、点字に触れて感じる活動ができるよう工夫されている。) 部落差別、アイヌ民族への差別、在日韓国・朝鮮人への差別、男女共同参画社会、バリアフリーなど、人権の内容が多い。 在日問題では、大阪朝鮮高校のラグビー部や生野コリアタウンが取り上げられている 		<ul style="list-style-type: none"> 部落問題や外国人参政権について取り上げている。 中国の人権問題を取り扱っている。 北朝鮮及び韓国の人権問題について取り扱っている。 職業の自由の説明に、過去の差別に関する表記がある。 		<ul style="list-style-type: none"> 部落問題をはじめとした人権課題について、きちんとふれられている。 障害者差別、外国人差別、部落差別を1時間構成で扱っている。 ネットモラルやメデイアリテラシーについての記載がある。 	
内容の程度	<ul style="list-style-type: none"> 本文は適量で、コラムも充実している。 単元ごとに「学習課題」を明記し、終末で「チェック&トライ」として2段階の振り返りを設けている。 本文中にコラム「みんなでチャレンジ」を設け、作業や言語活動を行うことができるような内容となっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 本文は適量でルビが多く、各単元に学習課題と振り返りのコーナーがある。 各頁の「ふりかえり」は2段階になっていて、「確認」で基礎的な事柄、「表現」で発展的な課題をあつまっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 本文は適量でルビが多い。 「学習の前に」→「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」→「学習を振り返ろう」で学習の流れが分かりやすい。 本文中のコラム「未来にむけて」や「公民プラス」で、実社会の動きや取り組みを紹介し、社会参画への意識を高める内容になっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 本文は適量で、ルビも適切にふられている。(小6以上の漢字) 単元ごとに「学習課題」が明記され、終末の「確認」で、自ら表現するような問いが用意されている。 本文中のコラム「公民+α」のコーナーで、実際の社会での課題に触れ、社会を生き抜く力をつけるような内容がある。 		<ul style="list-style-type: none"> 本文は適量でルビが多く、またミニ知識(コラム)も多い。 各章のまとめが1ページあり見やすい。 		<ul style="list-style-type: none"> 本文は適量で、各章の始めに「〇〇の入り口」として導入部分がある。 各章のまとめが1ページあり見やすい。 	
組織・配列	<ul style="list-style-type: none"> 資料や図が見やすい。 「公民にアクセス」のコーナーで本文の内容をくわしく説明し、学習を深めるようになっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 資料が多く、新しいものが多い。 見開きの導入で、LOOKのコーナーを設け、様々な実例を紹介し、興味を高め、発問にげている。 		<ul style="list-style-type: none"> 本文の導入に、ワイドな写真やイラストが示され、課題に向かう意欲を高めるものになっている。 制度や仕組みの説明にイラストが使われていて、理解しやすい。 		<ul style="list-style-type: none"> 導入の資料(写真)が見やすく、キャラクターによる発問形式で、生徒の興味関心を高めるようになっている。 抽象的な事象をわかりやすく図で示、レイアウトしやすい。 北方領土、竹島、尖閣諸島などの領土問題について、わかりやすく記載されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 補足説明が同一ページで行われている。 資料、グラフ内の文字が大きく、みやすい資料になっている。 各章のはじめに記された、章を通じた問いから課題をつかんで、学習を進められるよう、「学習のまとめと発展」で自らの考えをまとめるという構成になっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 1970年と2025年の大阪万博についての記載がある。 資料が載っている教科書の上部に背景色がついており、本文が読みやすくなっている。 	
創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> 各章の導入で、グループワークを行い、意見を出し合うことで探求課題につなげる工夫がされている。(「SDGsから地球の課題を考える」や「だれを市長に選ぶ?」など4か所で、さまざまな意見が出る工夫がされている。 		<ul style="list-style-type: none"> コラム「公民の窓」で興味関心を広げ、学習を深めていく工夫がされている。(ヘイトスピーチ・子ども食堂など) 興味、関心を深めるタイトルになっている。「差別をしない、させない」「願いをかなえる政党政治」など) 		<ul style="list-style-type: none"> 本文中コラムでYes Noとして、賛成と反対の両意見を紹介し、自分の考えを表現するきっかけとしている。 特設ページ「アクティブ公民」を設け、課題について主体的にとりくみ、思考力・判断力を養うようになっている。 章末の「よりよい社会をめざして」で、実社会の事例を通じて学習を深めるよう工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 「情報スキルアップ」ではメディアリテラシーについてふれられている。(「ネット社会」「新聞の伝え方」など3項目) 東京オリンピック・パラリンピックについての記載がある。(「明日にむかって」コーナー) 「アクティビティ」のコラムが用意され、個人や小集団での言語活動を通して深い学びを実現するよう工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 「もっと知りたい」で興味をもって更に学習を深められるよう工夫されている。 国旗と国歌を考えるページがある。 天皇のお仕事という特集がある。 		<ul style="list-style-type: none"> 3世代の生きてきた時代からその背景と家族の生活史が学べるようになっている。 現代社会の見方や考え方を、漫画を使って記載している。 章を通して課題解決的な学習ができるよう工夫されている。また、見開きの始めにある資料や「課題」で社会との関わりを意識した課題が設けられ、課題を解決する学習展開ができるよう工夫されている。 	
発展的な学習	<ul style="list-style-type: none"> 章末の学習まとめは、基礎的な事項の確認と、発展的な内容の学習課題となっている。 章末に「もっと公民」のコーナーを設け、様々な実例を示し、具体的に考えて表現する発展的な学習がある。(「先住民族としてのアイヌ民族」など9項目) 		<ul style="list-style-type: none"> 章末の学習のまとめでは、基礎的な内容の確認と、発展的な内容の課題がある。 章末の「読んで深く考えよう」の中で、学習がさらに深められるようになっている。 随時「言葉で伝えあおう」コーナーを設け、発展的な学習が組み込まれている。(「新しい人権を考える～ディベート」など6項目) 		<ul style="list-style-type: none"> 「章の学習を振り返ろう」では、基礎的な知識を問う課題と、考えをまとめるなど思考力・表現力を伸ばせる課題とが設けられ、考えを深めるステップとなっている。 「技能をみがく」のコラムで、言語活動を取り入れている。 「先輩たちの選択」として、社会参画を促す具体例を紹介している。(狂言師・NGO職員など6テーマ) 		<ul style="list-style-type: none"> 編末の「学習の整理と活用」では、基礎的な基本的内容の確認と発展的な課題を行えるようになっている。 章末の「明日に向かって」で、社会に参画するための手がかりを示している(「まちのバリアフリーを探そう」など8項目) 「チャレンジ公民」では、社会の課題を自ら発見し、解決する力を養うことができるようになっている。(社会保障のあり方・地球温暖化政策など) 		<ul style="list-style-type: none"> 「学習のまとめと発展」で基礎的な学習の確認と発展的な学習の課題ができるようになっている。 章末の「学習の発展」では、課題を400字でまとめるなど発展的な内容となっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 「考えよう」「理解を深めよう」でさらに学習を深められるようになっている。 章末の「学習のまとめ」は、基礎基本の確認と、発展的な内容の課題となっている。 	

数学

教科用図書選定資料

教科書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名
	東京書籍	新しい数学	大日本図書	数学の世界	学校図書	中学校数学	教育出版	中学数学	啓林館	未来へひろがる数学	数研出版	日々の学びに数学的な見方 ・考え方をはたらかせる これからの数学	日本文教出版	中学数学
目標・内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・数学科の目標達成に必要な十分な内容が盛り込まれており、適切である。 ・各単元において基礎的、基本的な内容や数学的活動を取り入れ、主体的・対話的で深い学びを実現できるよう、また「深い学びのページ」で問題発見・解決を重視した活動ができるよう、工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・数学科の目標達成に必要な十分な内容が盛り込まれており、適切である。 ・各章の「活動」「判断しよう」「伝えよう」において、生徒の数学的な判断力・表現力を育成するように工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・数学科の目標達成に必要な十分な内容が盛り込まれており、適切である。 ・数学的な見方・考え方を示すことで、事象を論理的に考察し、数量や図形等の性質を見だし統合的・発展的に思考・判断・表現することができる内容となっている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・数学科の目標達成に必要な十分な内容が盛り込まれており、適切である。 ・「〇〇を学習する前に」では既習事項への振り返りができ、各章の導入の前に確認ができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・数学科の目標達成に必要な十分な内容が盛り込まれており、適切である。 ・内容のまとまりごとに「小見出し」が設けられており、目標意識を持って学習に取り組むことができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・数学科の目標達成に必要な十分な内容が盛り込まれており、適切である。 ・巻末の「数学旅行」、別冊探究ノートの「課題学習」等で、数学を生活や学習に生かすことができるよう取り扱われている。また、キャラクターの対話から問題解決の過程を振り返り評価・改善できるよう取り扱われている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・数学科の目標達成に必要な十分な内容が盛り込まれており、適切である。 ・「身近なことから」「数学のたんけん」、巻末の「暮らしと数学」等で、数学を生活や学習に生かすことができるよう取り扱われている。また、「学び合おう」のページでは、巻末の「対話シート」を使って、問題解決の過程を振り返り評価・改善できるよう取り扱われている。 	
取人扱権いの	<ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重、生命尊重、平和の希求の観点で適切な表現がなされている。 ・他者の考えを尊重しつつ、よりよい考えを追求し協議して取り組む態度が身に付くような配慮がある。 ・点字や車いすマラソンの取扱いがあり、多様性の尊重に配慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重、生命尊重、平和の希求の観点で適切な表現がなされている。 ・男女の登場場面のバランスに偏りをなくし、挿絵に登場する生徒の服装は性別を区別しないように配慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重、生命尊重、平和の希求の観点で適切な表現がなされている。 ・登場するキャラクターの名前をすべて「さん」づけとし、男女を固定的なイメージで区別しないようにされている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重、生命尊重、平和の希求の観点で適切な表現がなされている。 ・点字についての取扱いがある。 		<ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重、生命尊重、平和の希求の観点で適切な表現がなされている。 ・性別による役割を固定することなく、互いに協力しながら活動できるように工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重、生命尊重、平和の希求の観点で適切な表現がなされている。 ・動物の年齢を人間に換算して考察させたり、日本の伝統的な文様をとり上げたりして工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重、生命尊重、平和の希求の観点で適切な表現がなされている。 ・人権尊重や男女平等などの観点から性別による役割を固定することなく、素材を適切に選んでいる。 	
内容の程度	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の発達段階に応じた内容であり、適切である。 ・補充的、発展的な学習を本文と適切に関連づけて取り上げている。(補充の問題・自由研究) 		<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の発達段階に応じた内容であり、適切である。 ・既習事項との関連付けの工夫があり、補充的・発展的な学習も本文と適切に関連付けて取り上げている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の発達段階に応じた内容であり、適切である。 ・「計算力を高めよう」で生徒の実態に応じて計算技能の習熟を図ることができるようにしている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の発達段階に応じた内容であり、適切である。 ・内容理解の定着を図るため、各章に「学習のまとめ」「章の問題」を設けている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の発達段階に応じた内容であり、適切である。 ・内容理解の定着を図るため、各章に「章末問題」「学びを身につけよう」を設けている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の発達段階に応じた内容であり、適切である。 ・自学自習ができるように、練習問題の難易度の幅が豊富に設定されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の発達段階に応じた内容であり、適切である。 ・章末の問題は「基本の問題」「章末の問題」から「とりくんでみよう」まであり、個の習熟度に応じて取り組みやすい内容となっている。 	
組織・配列	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の発達段階や目標に応じた組織・配列となっており適切である。 ・基礎的、基本的内容について十分な指導ができ、また内容を系統的に学習できるように工夫がなされている。学習の定着を図ることができるように分量が適切に配分されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の発達段階や目標に応じた組織・配列となっており適切である。 ・各学年の系統性ととも、中学校の内容や高校の内容にも触れ系統性が途切れないように配慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の発達段階や目標に応じた組織・配列となっており適切である。 ・基礎的、基本的内容について指導ができるように分量が適切に配分されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の発達段階や目標に応じた組織・配列となっており適切である。 ・基礎的、基本的内容について指導ができるように分量が適切に配分されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の発達段階や目標に応じた組織・配列となっており適切である。 ・基礎的、基本的内容について指導ができるように分量が適切に配分されている。 ・導入をうまく使って、本題のところにもふり返ることができるように工夫している。 		<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の発達段階や目標に応じた組織・配列となっており適切である。 ・基礎的、基本的内容について指導ができるように分量が適切に配分されている。 ・導入をうまく使って、本題のところにもふり返ることができるように工夫している。 		<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の発達段階や目標に応じた組織・配列となっており適切である。 ・基礎的、基本的内容について指導ができるように分量が適切に配分されている。 ・章の前にふりかえりがある。 	
創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・QRコードが教科書の最初に設けられており、ICTを活用して確認できるように工夫されている。 ・章の導入部分では、生徒の生活経験に即した身近な題材が多く取り上げられており、関心を持って学習に取り組めるよう工夫されている。 ・グラフに見やすい工夫がなされている。 ・「箱ひげ図」と「ヒストグラム」の対応など見やすく整理されており、データ活用力を育む工夫がなされている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・QRコードが教科書の最初に設けられており、ICTを活用して確認できるように工夫されている。 ・生徒が数学的な表現力を養い、問題解決の過程を振り返ることができるように吹き出しでの問いかけやアドバイスがなされている。学習した内容を利用して考えるページでは、問題発見・問題解決の流れが提示されており、課題提示から自分や周りの考えをまとめ問題解決できるように工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・QRコードが教科書の最初に設けられており、ICTを活用して確認できるように工夫されている。 ・学習内容に関連するコラムで生徒にとって身近な題材を取り上げ、興味・関心を高めるための読み物教材が充実している。 ・「数学的活動」のページでは、問題発見・問題解決の流れが提示されており、課題提示から自分や周りの考えをまとめ問題解決できるように工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・QRコードが教科書の最初に設けられており、ICTを活用して確認できるように工夫されている。 ・問題解決のプロセスを示しているページでは、問題発見・問題解決の流れが提示されており、課題提示から自分や周りの考えをまとめ問題解決できるように工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・QRコードが活用されており、利用できる各場所に添付されている。 ・内容は、解答や解説が準備されており、ICTを活用して確認できるように工夫されている。 ・「自分から学ぼう編」の「学びをいかそう」では、課題提示から自分や周りの考えをまとめ問題解決できるように工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・QRコードが活用されており、利用できる各場所に添付されている。 ・ガイドキャラクターが学習の流れをつなげたり、注意喚起や学習を深める投げかけをしたりと、学習のポイントが示されている。 ・別冊の「探究ノート」では、課題提示から自分や周りの考えをまとめ問題解決できるように工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・QRコードが教科書の最初に設けられており、ICTを活用して確認できるように工夫されている。 ・「数学のたんけん」「暮らしと数学」「数学研究室」では学んだことを使って身のまわりの問題を解決する課題が示されている。 ・「学び合おう」のページでは、問題発見・問題解決の流れが提示されており、「対話シート」を使い、課題提示から自分や周りの考えをまとめ問題解決できるように工夫されている。 	
発展的な学習	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末の「補充の問題」と本文で学習したページ数が互いにリンクして掲載されており、自主的・系統的に補充学習、あるいは発展的な学習ができるようになっている。 ・章末問題では、記述式や図表の読み取りなどの数学の活用力を伸ばす問題や、入試に対応できる力をつけることのできる問題も取り上げられており、充実した内容である。 ・巻末の「大切にしたい見方・考え方」「数学の自由研究」で、社会の中の数学や、数学の歴史など、生活の中で数学的な見方や考え方が育成されるように配慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・「学びにプラス」、巻末の「活用・探求」、巻末の「課題学習」では身のまわりの数学での課題解決について、興味を持たせる内容が充実している。 ・「WEBマーク」のあるページでは、学習の役に立つ情報をデジタルコンテンツや資料などで見ることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・巻末の補充問題の解答が充実しており、自学自習がしやすい工夫がなされている。 ・「深めよう」や「さらなる数学へ」では発展的な内容が豊富で、高校数学への関連付けもあり、数学的な見方や考え方を深める工夫がなされている。 ・「二次元コード」のあるページでは、学習の役に立つ情報をデジタルコンテンツや資料などで見ることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・「数学の広場」で、社会の中の数学や他教科の中での数学、数学の歴史など、生活の中で数学的な見方や考え方が育成されるように配慮されている。 ・中高連携を意識し、高等学校の学習内容に触れることができるような部分も用意されている。 ・「学びリンク」のあるページでは、学習の役に立つ情報をデジタルコンテンツや資料などで見ることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・「数学ライブラリー」で、社会の中野数学や他教科の中での数学、数学の歴史など、生活の中で数学的な見方や考え方が育成されるように配慮されている。 ・裏表紙からはじまる縦開き構成で、「自分から学ぼう編」という名で主体的に学びに取り組めるような内容が盛り込まれている。 ・「二次元コード」のあるページでは、学習の役に立つ情報をデジタルコンテンツや資料などで見ることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・別冊の「探求ノート」では生徒が自ら考え、応用力を高める工夫がなされている。 ・社会の中の数学や、数学の歴史など、生活の中で数学的な見方や考え方が育成されるように配慮されている。 ・また身のまわりの数学での課題解決について、興味を持たせる内容が充実している。 ・「インターネットへのリンクマーク」のあるページでは、学習の役に立つ情報をデジタルコンテンツや資料などで見ることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・巻末の「補充問題」「活用・問題」では、生徒の興味・関心を高められるような話題や、数学の見方や考え方をさらに広げるための課題が示されている。 ・章末問題では、記述式や図表の読み取りなどの数学の活用力を伸ばす問題や、入試に対応できる力をつけることのできる問題も取り上げられており、充実した内容である。 ・「WEBマーク」のあるページでは、学習の役に立つ情報をデジタルコンテンツや資料などで見ることができる。 	

理科

教科用図書選定資料

教科書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名
	東京書籍	新しい科学	大日本図書	理科の世界	学校図書	中学校科学	教育出版	自然の探究 中学校理科	啓林館	未来へひろがるサイエンス
目標・内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> すべての節の導入に、主体的に学習することができる「レッツスタート」を設けている。 実験結果の考察では、ステップを細かくし、生徒が段階を踏んで考えることができるようになっている。 「学びを広げよう自由研究」などで、自然の事象・現象に進んで関わり、科学的に探求しようとする態度を育むための適切な内容が取りあげられている。 		<ul style="list-style-type: none"> 理科の目標達成に適切な内容が盛り込まれている。 各章に「主体的・対話的で深い学び」が実現できる観察・実験が設定されている。 単元の終わりには、身についた知識を確認できるよう、「まとめ」「単元末問題」「読解力問題」が盛り込まれている。 各学年の巻頭ページには、理科に関連した職業の写真など、キャリア教育の資料が使用されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 「主体的・対話的で深い学び」につながるヒントが盛り込まれている。 各単元の最後に、全国学力・学習状況調査への対策となる記述問題を盛り込んでいる。 最後のページに「アイデアボード」を設け、生徒同士での話し合いができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 理科の目標達成に適切な内容が盛り込まれている。 各節ごとに、明確に結論がまとめられている。 観察・実験の手順が分かりやすく、内容も充実している。 単元のまとめに「要点と重要用語の整理」「基本問題」「学年末総合問題」が盛り込まれている。 		<ul style="list-style-type: none"> 理科の目標達成に適切な内容がバランスよくかつ十分盛り込まれており、本文で1つ1つ丁寧に説明されている。 単元最初に学習に関連した身近な疑問が盛り込まれている。 各単元に「主体的・対話的で深い学び」につながる理科学的な問題設定や実験などの学習が数多く設定されている。 各単元の最後に、これまで学んだことを生かしてふりかえる「探求の過程」がある。 学習内容に関連したキャリア教育・環境教育の資料が使用されている。 	
取人権の	<ul style="list-style-type: none"> 色覚特性への対応として、カラーユニバーサルデザインを使用し、また色だけではなく、線種を変えている。 火山や地震、気象災害について、最近の資料を豊富に掲載している。 		<ul style="list-style-type: none"> イラストや写真で登場してくる男女の人数はほぼ均等である。 フォントやカラーでユニバーサルデザインを用いて、すべての人が見やすい工夫がある。 自然を愛し、生命を尊重しようとする態度がはぐくまれるような資料を使用している 		<ul style="list-style-type: none"> 色覚特性への対応として、カラーユニバーサルデザインを使用し、また色だけではなく、線種を変えている。また、紙面デザインをひかえめにし、重要な内容を簡条書きにするなど、すべての人が見やすい工夫がある。 		<ul style="list-style-type: none"> 自然災害に関する資料が充実している。 各学年で文字の大きさを変化させている。 初出の漢字にはふりがなをつけている。 フォントやカラーでユニバーサルデザインを用いて、すべての人が見やすい工夫がある。 		<ul style="list-style-type: none"> イラストや写真で登場する男女の人数はほぼ均等である。 色覚特性などを含めた、すべての人が見やすく読みやすいデザイン・フォント・レイアウトである。 「持続可能な開発目標(SDGs)」など環境問題について随所で掲載し、世界的な課題に目を向けられるようにしている。 	
内容の程度	<ul style="list-style-type: none"> つまずきやすい内容では、「例題」や「考え方」が示されたり、記述がより丁寧に示されたりして、配慮されている。 「発展的な学習内容」は、必修の学習内容と十分な関連が図られ、内容の程度・分量とも過度な負担にならないように配慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 単元末の「まとめ」では、学習した重要語句の確認ができる。また、自学自習ができるよう章末問題が設けられている。 単元末の「探究活動」では、探究的な活動の例が示されており、生徒が主体的に取り組みやすくなっている。 地域的な取り組みだけでなく、SDGs など、国際的な取り組みについても触れられている。 		<ul style="list-style-type: none"> 各単元の最初に「ふり返ろう・つなげよう」という問いのページがあり、既習事項との関連が図る事ができる。 記述が簡潔で、厳選されており、何が重要な概念なのか一目で分かりやすいため、生徒が自学自習しやすい。 		<ul style="list-style-type: none"> 毎回の授業で、「疑問」→「課題」→「結論」の流れで構成されているので、生徒にとっても分かりやすい。 写真を多用して、分かりやすく、興味を引きつける内容である。 		<ul style="list-style-type: none"> 単元導入や章導入で、生徒の興味を高めるビジュアルな写真や資料が示されている。 観察、実験には、「探究の振り返り」が設定されており、深い学びにつながるように工夫されている。 単元末の「学習のまとめ」で、重要語句が図とともに整理されており、QRコードを読み取ると、語句を繰り返し復習できるようにになっている。 	
組織・配列	<ul style="list-style-type: none"> 「発展的な学習内容」には、共通の「発展」マークと学習する時期が付され、必修の学習内容と区別されている。 教科書のサイズを縦長にして使いやすく、見やすくなっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 教科書のサイズがもっとも小さく、コンパクトである。 本文が見開きページ中央に寄せられており、両端に図や写真が配置されているので見やすくなっている。 単元の配列を1分野・2分野区別することなく、小学校との関連を重視し、発達段階などに配慮されて構成されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 写真やイラストを大きく配置することで、視覚的に分かりやすいつくりになっている。 各単元の内容がすべて3章に整理されており、全学年を通じて学習内容の区切りが分かりやすい。 		<ul style="list-style-type: none"> どの単元においても、巻頭で示されている「探究の進め方」に基づいた共通した構成がなされており、探究的に学習を進めやすい。 教科書を見ながら実験や観察を進めやすいレイアウトになっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 目次が、「本文内容」観察・実験などの技能「発展」「コラム」などに詳しく分けられており、分かりやすい。 「つながるページ」で、同一学年内の別の単元でも登場する用語が相互に参照できるようにになっている。 章導入及び単元内の箇所「つながる学び」「思い出してみよう」が配置されており、既習内容を踏まえた上で、新たな学習に取り組めるように工夫されている。 	
創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> 生徒目線の疑問や課題が豊富に掲載されている。 単元末の学習内容の整理で用語が見やすく示されていて用語の確認を行いやすい。 実習や実験・観察の内容が豊富で、生徒の活動を行いやすい工夫がある。 大きな写真や図で視覚的に理解しやすいような工夫がある。 「つながる科学」や「世界につながる科学」など、学習内容と日常生活がつながる資料が使用されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 親しみやすいキャラクターのコメントをつけることで、学習へ取り組みやすくしている。 各単元のはじめには、見開き2ページにわたり「これまでに学習したこと」を掲載し、学びのつながりを意識できる。また同ページに「これから学習すること」を示すことで、見通しをもって学ぶことができるよう工夫されている。 「思い出そう」や「つながる」で、小学校で既習の内容の確認や、他教科とのつながりが意識できるような仕掛けがある。 「くらしの中の理科」は日常生活と関連した内容で科学的に考える力を育成しようとしている。 		<ul style="list-style-type: none"> QRコードでより詳しい説明などを見ることができる。 また、Can Do Listで自分の理解度を確認できるようになっている。 巻末に学びの交換アイデアボードをつけており、班活動での意見交換ができるようになっている。 資料が大きく、班活動などでの活用を意識して作られている。 		<ul style="list-style-type: none"> 字がとても大きく、見やすい。 「やってみよう」のコーナーが充実しており、クラスでのグループワークに使うことができる内容が掲載されており、内容理解を深めることができる。 単元の始まりに「学習前の私」が、単元の終わりに「学習後の私」が載っており、学習したことを正しく説明できるかどうかを確認できる。 		<ul style="list-style-type: none"> QRコードがあり、デジタル端末を用いて資料を動画で見ることができる。 巻末に探究シートがついており、主体的・対話的に学習することができる教材となっている。 「科学コラム」では、実生活や実社会と関連付けた内容が充実している。 写真や資料が非常に大きく見やすく、要点もわかりやすい配置になっている。 各単元に1つずつ「探Q実験」を設け、対話例から主体的な思考を導き出したり、巻末付録の「探Qシート」を用いて自分の考えを自由に書き込み話し合ったりすることで、主体的・対話的な学びの実現につなげている。 	
発展的な学習・補充的な学習	<ul style="list-style-type: none"> 単元末の「確かめと応用」の問題で、学習したことを振り返ることができる。 「つながる科学」のコーナーで発展的な内容や興味を持ちやすい疑問に対する解説が載っており、高校で学ぶ内容や社会と関連のあることがらを学ぶことができる。 「科学の本だな」では、学習内容に関する書籍を紹介しており、発展的な学習ができるよう配慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 章末の「章末問題」や単元末の「まとめ」「単元末問題」「読解力問題」で学習内容を振り返ることができる。 「Professional」のコーナーで理科の知識や技術を使って現在行われている仕事や研究の紹介がされており、職業の選択のヒントになるような工夫がある。 「Science Press」で、より発展的な内容の説明もされている。 発展的な内容については、1～3年で86ヶ所「発展」マークで示されており、充実している。 		<ul style="list-style-type: none"> 「発展」が明示され科学の歴史や日常とのつながり、他教科とのつながりなどが分かりやすくなっている。 「サイエンスカフェ」で単元内容に即した資料がのっており、日常生活で目にするものと関連付けることで理解が深まるようになっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 「ハローサイエンス」では発展的な内容を取り扱っており、学習をより深めることができる。 章ごとの課題では、実験や観察、図や言葉を使って説明が必要な発問が「課題」として挙げられており、生徒が自分で考えるためのものになっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 章末の「力だめし」の問題が充実している。 「深めるラボ」では、単元の内容理解をより深めるために、高校で扱う内容などが紹介されている。また、「部活ラボ」「お仕事ラボ」で生徒の興味関心をより高められるようになっている。 探求の力を活用する、「みんなで探Qクラブ」が各単元の最後に設定されている。題材が探究したくなるような身近な疑問に設定されており、探究のふり返りの例を見ながら、授業や自由研究などで、探究のサイクルの進め方を復習できるようにしている。 	

音楽 教科用図書選定資料

教科書名	発行者名	書名	発行者名	書名
	教育出版	中学音楽 音楽のおくりもの	教育芸術社	中学生の音楽
目標・内容 の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 学習のねらい、学習する教材や曲を通して、身に付ける音楽の力や多様性について理解を図ることができる内容が取り上げられている。 感じ取ったことをまとめたり話し合ったりしながら、音楽表現を工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聞く内容が取り上げられている。 音楽や芸術の多様性を伝える各界の著名な人物等を取り上げるなど、音楽を愛好する心情を育み、音楽に親しむ態度を養う内容になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習のねらい、学習する教材や曲を通して、身に付ける音楽の力や多様性について理解を図ることができる内容が取り上げられている。 感じ取ったことをまとめたり話し合ったりしながら、音楽表現を工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聞く内容が取り上げられている。 音楽や芸術の多様性を伝える各界の著名な人物等を取り上げるなど、音楽を愛好する心情を育み、音楽に親しむ態度を養う内容になっている。 		
取人扱権 の	<ul style="list-style-type: none"> 人権尊重の観点から、選曲、歌詞、文章、写真、挿絵、図、資料、SDGsとの関連などが適切に扱われており、多様な他者を尊重し、協働していくことができるように配慮されている。 すべての生徒にとって使いやすくなりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 人権尊重の観点から、選曲、歌詞、文章、写真、挿絵、図、資料、SDGsとの関連などが適切に扱われており、多様な他者を尊重し、協働していくことができるように配慮されている。 すべての生徒にとって使いやすくなりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。 		
内容の 程度	<ul style="list-style-type: none"> 各学年に歌唱についての基本的な技能を身につけるためのページが設けられ、生徒の実態に応じて歌唱活動を通して必要な技能を身につけられるよう配慮されている。また、変声や声部の役割についても取り扱っている。 鑑賞では、楽器の写真や配置、楽曲の構成などがより視覚的に音と結び付けられるよう考慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各学年に歌唱についての基本的な技能を身につけるためのページが設けられ、生徒の実態に応じて歌唱活動を通して必要な技能を身につけられるよう配慮されている。また、変声期についても取り扱っている。 鑑賞では、楽器の写真や配置、楽曲の構成などがより視覚的に音と結び付けられるよう考慮されている。 小学校で既習した合唱曲を混声三部合唱として編曲して配列することで、親しみをもって混声合唱に無理なく移行できるよう配慮されている。 		
組織・ 配列	<ul style="list-style-type: none"> 合唱曲、共通教材、創作、鑑賞と、表現と鑑賞が段階的に取り上げられ、学びが深まるよう配慮して配列されている。 「学びのユニット」というアイコンを用い、教材ごとに学びのねらいや活動、各領域・分野の関連がわかりやすく整理されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 合唱曲、共通教材、創作、鑑賞と、表現と鑑賞が段階的に取り上げられ、学びが深まるよう配慮して配列されている。 教材の各ページに共通事項で示されている用語や記号を取り上げることで、学習活動を進めながら知識・技能を身につけられるような効果的な指導が行われるよう配慮されている。 		
創意 工夫	<ul style="list-style-type: none"> 聴き取ったことや感じ取ったこと等を記録し、発表したり交流したりすることで協働的な活動が展開できるように工夫されている。例えば「話し合おう」に考えをまとめ、交流を促すよう扱われている。 「比べてみよう」という比較鑑賞、比較表現する学習活動を行うことで、より主体的に学習する授業を展開できる工夫がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 聴き取ったことや感じ取ったこと等を記録し、発表したり交流したりすることで協働的な活動が展開できるように工夫されている。例えば「ワークシート」に考えをまとめ、交流を促すよう扱われている。 教科書に直接書き込めるワークシートにおいて、「知覚」と「感受」に分けて書き込む工夫がされており、自分自身が音楽をどう感じているか客観的に振り返ることができるよう配慮されている。 		
補充的 な学習	<ul style="list-style-type: none"> 「発展」ページには、「音」「音の三要素」についてコラムが載せられており、生活や社会と音とのつながり等について取り上げられている。 音楽家、芸術家からのメッセージや世界の多様な音楽、芸術の資料が掲載されており、幅広い音楽文化について豊かに関わるができるよう配慮されている。 「まなびリンク」で鑑賞教材の楽曲や演奏家の言葉を聞くことができ、学校外においても学びの機会が広がられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「生活や社会の中の音楽」として特設ページが設定され、生活や社会と音楽とのつながり等について取り上げられている。 音楽家、芸術家からのメッセージや世界の多様な音楽、芸術の資料が掲載されており、幅広い音楽文化について豊かに関わるができるよう配慮されている。 二次元コードのあるページでは、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。 		

器楽 教科用図書選定資料

教科書名	発行者名	書名	発行者名	書名
	教育出版	中学器楽 音楽のおくりもの	教育芸術社	中学校の器楽
目標・内容 の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 学習する教材や楽器についての基礎的な知識や奏法を身に付け、創意工夫を生かした音楽表現ができるよう内容が取り上げられている。 生活や社会の中の音や音楽について考える教材を幅広く取り入れるなど、音楽を愛好する心情を育み、音楽に親しむ態度を養う内容になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習する教材や楽器についての基礎的な知識や奏法を身に付け、創意工夫を生かした音楽表現ができるよう内容が取り上げられている。 生活や社会の中の音や音楽について考える教材を幅広く取り入れるなど、音楽を愛好する心情を育み、音楽に親しむ態度を養う内容になっている。 		
取人扱権 の	<ul style="list-style-type: none"> 人権尊重の観点から、選曲、歌詞、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に扱われており、多様な他者を尊重し、協働していくことができるよう配慮されている。 すべての生徒にとって使いやすくなりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 人権尊重の観点から、選曲、歌詞、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に扱われており、多様な他者を尊重し、協働していくことができるよう配慮されている。 すべての生徒にとって使いやすくなりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。 合奏教材では我が国の楽器と諸外国の楽器を用いた器楽曲が用いられ、自国や諸外国の音文化を尊重できるような教材が配置されている。 		
内容の 程度	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの楽器の知識・技能を身に付けながら、表現を工夫できるように展開されている。 共通事項は、音楽における働きと関わらせながら理解し活用できるよう、各題材と関連付けて適切に取り扱われている。 「聴いてみよう」のコーナーでは鑑賞教材が紹介されており、学習する楽器や音楽（一般）と関連付けて学習できるよう考慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの楽器の知識・技能を身に付けながら、表現を工夫できるように展開されている。 共通事項は、音楽における働きと関わらせながら理解し活用できるよう、各題材と関連付けて適切に取り扱われている。 学習する楽器のはじめに、「～の演奏を聴こう」として鑑賞教材が紹介されており、学習する楽器や音楽（一般）と関連付けて学習できるよう考慮されている。 		
組織・ 配列	<ul style="list-style-type: none"> 小学校でも扱っているリコーダーを扱い、管楽器、弦楽器、打楽器の順に楽器の基礎的な知識や奏法が身に付けられるようまとめられている。 「学びのユニット」というアイコンを用い、教材ごとに学びのねらいや活動、共通事項がわかりやすく整理されている。 巻頭カラーページにこれから学習する楽器、比較鑑賞する楽器を掲載し、学ぶ楽しさを盛り上げる工夫がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校でも扱っているリコーダーを扱い、弦楽器、打楽器、管楽器の順に楽器の基礎的な知識や奏法が身に付けられるようまとめられている。 教材ごとに「学習目標」「活動文」「共通事項」が明示され、器楽の学習を通して身につけるべき内容が一目で理解できるよう、編集されている。 楽器の基本的な奏法と共に単旋律で演奏できる補助教材が示されており、身につけた奏法をすぐに生かし、器楽活動を楽しめる構成になっている。 		
創意 工夫	<ul style="list-style-type: none"> 楽器の特徴を踏まえて、考えたことを書く欄や、創作した音やリズム等を記載する欄が設けられており、自分の考えや作品を紹介し合うことで、互いの見方・考え方を知り、さらに言語活動を進めていけるよう工夫されている。 音楽文化の理解を一層深めるために各国の楽器の「共通性」と「固有性」について話し合いができるように配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 楽器の特徴を踏まえて、考えたことを書く欄や、創作した音やリズム等を記載する欄が設けられており、自分の考えや作品を紹介し合うことで、互いの見方・考え方を知り、さらに言語活動を進めていけるよう工夫されている。 「深めよう音楽」のページではキャラクターの吹き出しのセリフの「問いかけ」を考えさせることで、自分自身の演奏を振り返り、よりよい演奏にするための手だてが示されている。 		
補充的 な学習	<ul style="list-style-type: none"> 巻末の「リコーダーの運指表」や「ギター&キーボード コード表」「音楽のいろいろな用語、記号」などの資料で学びをふり返ることができるよう取り扱われている。 発展「吹く楽器の仲間たち」などのページがあり、器楽学習への興味関心を促す工夫がされている。 「まなびリンク」のあるページでは、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻末の「リコーダーの運指表」や「ギター／キーボード コード表」「音楽の約束」などの資料で学びをふり返ることができるよう取り扱われている。 様々な編成でのアンサンブル曲が掲載され生徒の実態や興味・関心に応じて楽曲に取り組めるよう工夫されている。 「二次元コード」のあるページでは、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。 		

美術

教科用図書選定資料

教科書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名
	開隆堂	美術	光村図書	美術	日本文教出版	美術
の目標・内容 の取り扱い	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が主体的に学習できる内容とし、美術科の目標達成に必要な内容が取り扱われている。 領域別に扉ページがあり、それぞれの題材ごとに学習の目標、学習のポイントが示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が主体的に表現と鑑賞の活動を関連づけて取り組めるように、美術科の目標達成に必要な内容がわかりやすく取り扱われている。 すべての題材に造形的な見方・考え方を働かせることを促す目標を設け、実感を伴う理解とその活用につながるように配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が主体的に表現及び鑑賞の活動に取り組み、美術科の目標達成に必要な内容がわかりやすく取り扱われている。 学習指導要領での三つの柱に基づいた「学びの目標」を生徒向けの言葉で設定し、生徒が見通しを持って活動できるよう工夫されている。 			
人権の 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 色覚の個性に対応するため、カラーユニバーサルデザインの考え方で紙面の配色が構成されているなど、インクルーシブ教育の観点から、さまざまな配慮がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 活字にユニバーサルフォントを使用したり、ルビを多く用いたりするなど多様な個性の生徒に配慮し、誰にでも読みやすく作られている。 LGBTに関連した内容などを盛り込み、人権尊重や国際理解を考慮した内容が適切に取り扱われている。 	<ul style="list-style-type: none"> 色覚の個性に対応するため、カラーユニバーサルデザインの考え方で紙面の配色が構成されているなど、インクルーシブ教育の観点から、さまざまな配慮がなされている。 			
内容の 程度	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な学習内容が適切に取り扱われており、主体的・対話的な学習ができるよう配慮されている。 生徒の発達段階に応じて表現の活動や鑑賞の活動の内容がバランスよく取りあげられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒作品を多く掲載し、「みんなの工夫」や「作者の言葉」を併記することで、興味を深められるよう考慮されている。 生徒の発達段階に応じて表現の活動や鑑賞の活動の内容がバランスよく取りあげられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 3年間の発達段階に応じた題材設定がされており、3分冊構成によって学びがさらに深まるよう考えられている。 生徒作品に「作者の言葉」を併記することで、発想や構想を深められるよう考慮されている。 			
組織・ 配列	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容が各領域とも偏りなく組織・配列されている。 2冊構成にすることにより資料の精選と領域ごとのつながりが意識されたつくりとなっている。 A4判の横幅をさらに広げた造本により図判が大きく取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容が各領域とも偏りなく組織・配列されている。 2冊構成にすることにより資料が精選されたつくりとなっている。 ページ下部に道徳とのつながりが示されたり、他教科とのつながりを示すコラムが設けられたりして、教科横断的な視点で効果的な指導が行われるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な学習内容が各領域とも偏りなく組織・配列されている。 A4判の横幅をさらに広げた造本により原寸大図判や大判作品が大きく取り上げられており、鑑賞学習の充実を図っている。 			
創意 工夫	<ul style="list-style-type: none"> 共同制作や友達と関わりながら取り組む活動を通して、発想や構想の際に感じたことや考えたことを言語化したり、他者との対話を通して見方・考え方を広げたりできるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒作品について制作プロセスが示されており、生徒が自分の表現に生かせるよう配慮されている。 美術Iの最初のページで、生徒による多様な美の発見が掲載されており、個性や感受性を尊重できるように働きかけている。 観音開きのページや原寸大の図判を多く掲載し、また風合いのある用紙の使用やトレーシングペーパーを綴じることで鑑賞学習が深まるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 題材ごとに「造形的な視点」という吹き出しをつけて具体的な問いを示すことで、発想や構想の際に感じたことや考えたことを言語化したり、他者との対話を通して見方・考え方を広げたりできるよう工夫されている。 美術Iの冒頭の「3年間の成長地図」により、3分冊の教科書による学びの見通しが持ちやすいように考慮されている。 			
発展的 な学習 ・ 補充的な 学習	<ul style="list-style-type: none"> 1年の巻末「学びの資料」のページに、カッターナイフの使用方法が掲載されている。 2次元コードがあるところでは、学習の参考となる資料をWEBサイトで見ることができ、デジタルコンテンツを使った深い学びにつながるような工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各巻末の「学習を支える資料」のページが充実しており、生徒が表現・鑑賞に意欲的に取り組むことができるよう配慮されている。 題材に他教科との関連を示すコラムを設け、横断的な学習に効果的につながる工夫がされている。 題材の随所に二次元コードが掲載され、デジタルコンテンツを使った深い学びにつながるような工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各巻末の「学習を支える資料」のページが充実しており、生徒が表現・鑑賞に意欲的に取り組むことができるよう配慮されている。 「道徳マーク」によって道徳の内容項目とのリンクを図る工夫が見られる。 二次元コードが掲載され、デジタルコンテンツを使った深い学びにつながるような工夫がされている。 			

保健体育

教科用図書選定資料

教科書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名
	東京書籍	新しい保健体育	大日本図書	中学校保健体育	大修館書店	最新中学校保健体育	学研	中学保健体育
目標・内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標を達成するため、適切な内容が取り上げられている。 単元末に「広げる」が設けられており、学習したことを活用して、生活の中でどのように実践していくかを考えることで、生涯にわたって運動に親しみ、健康の保持増進と体力の向上をめざし、明るく豊かな生活を営む態度を養うよう取り扱われている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標を達成するため、適切な内容が取り上げられている。 単元末に「活用して深めよう」、章末に「学びを活かそう」が設けられており、学習したことを活用して、生活の中でどのように実践していくかを考えることで、生涯にわたって運動に親しみ、健康の保持増進と体力の向上をめざし、明るく豊かな生活を営む態度を養うよう取り扱われている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標を達成するため、適切な内容が取り上げられている。 章末に「課題に向かって」「学びに向かって」が設けられており、学習したことを活用して、生活の中でどのように実践していくかを考えることで、生涯にわたって運動に親しみ、健康の保持増進と体力の向上をめざし、明るく豊かな生活を営む態度を養うよう取り扱われている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標を達成するため、適切な内容が取り上げられている。 単元末に「まとめる・深める」が設けられており、学習したことを活用して、生活の中でどのように実践していくかを考えることで、生涯にわたって運動に親しみ、健康の保持増進と体力の向上をめざし、明るく豊かな生活を営む態度を養うよう取り扱われている。 				
人権扱い	<ul style="list-style-type: none"> 人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。 すべての生徒にとって使いやすくわかりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。 性の多様性についての資料が多く掲載され、共存の視点を重視した口絵や資料が随所に掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。 すべての生徒にとって使いやすくわかりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。 生徒が活動する場面ではジェンダーを意識し、多様な性の在り方について配慮し、イラストなどで男女が同人数になるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。 すべての生徒にとって使いやすくわかりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。 『性意識の個人差』を取り上げ、すべてが自分らしく生きていける社会が目指されていることを解説している。 	<ul style="list-style-type: none"> 人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。 すべての生徒にとって使いやすくわかりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。 LGBTやSOGIに触れるとともに、多様な性のあり方に配慮している。 様々な感染症について、正しい知識を身に付け、予防や回復について考えることができるようにし、人権上の問題についても触れられている。 				
内容の程度	<ul style="list-style-type: none"> 文章はわかりやすく、簡潔な記述であり、分量とともに生徒の発達段階を考慮した内容となっている。 写真、挿絵、図、表などの資料について、生徒の発達段階を考慮した内容となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章はわかりやすく、簡潔な記述であり、分量とともに生徒の発達段階を考慮した内容となっている。 写真、挿絵、図、表などの資料について、生徒の発達段階を考慮した内容となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章はわかりやすく、簡潔な記述であり、分量とともに生徒の発達段階を考慮した内容となっている。 写真、挿絵、図、表などの資料について、生徒の発達段階を考慮した内容となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章はわかりやすく、簡潔な記述であり、分量とともに生徒の発達段階を考慮した内容となっている。 写真、挿絵、図、表などの資料について、生徒の発達段階を考慮した内容となっている。 				
組織・配列	<ul style="list-style-type: none"> すべての学年で目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点を含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。 学年ごとに前に保健編、後ろに体育編が配列されている。また、関連した内容を学習するページや他の教科とのつながりをマークで示している。 見開き2ページを1単位時間で学習することを基本とし、本文や写真、挿絵、図、表などが効果的に配置されている。 	<ul style="list-style-type: none"> すべての学年で目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点を含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。 学年ごとに前に体育編、後ろに保健編が配列されている。また「リンク」マーク、「他教科」マークで、関連した内容を学習するページや他の教科とのつながりをマークで示している。 見開き2ページを1単位時間で学習することを基本とし、本文や写真、挿絵、図、表などが効果的に配置されている。 	<ul style="list-style-type: none"> すべての学年で目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点を含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。 学年ごとに前に体育編、後ろに保健編が配列されている。また、「関連」マーク、「他教科」マークで、関連した内容を学習するページや他の教科とのつながりをマークで示している。 見開き2ページを1単位時間で学習することを基本とし、本文や写真、挿絵、図、表などが効果的に配置されている。 	<ul style="list-style-type: none"> すべての学年で目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点を含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。 学年ごとに前に体育編、後ろに保健編が配列されている。また、「関連」マークで関連した内容を学習するページや他の教科とのつながりをマークで示している。 見開き2ページを1単位時間で学習することを基本とし、本文や写真、挿絵、図、表などが効果的に配置されている。 重要用語の説明が詳しく、同じページに記載されて見やすく配慮されている。 				
創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> 「学習課題」として単元の課題を示し「見つける」「?マーク」「活用する」「広げる」という学習過程の中で、生徒自身が、自分のこととして、課題を合理的に解決する学習活動が行えるように工夫されている。 「活用する」では、他者に説明したり他者と話し合ったりする活動が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「学習課題」として単元の課題を示し「見つける」「?マーク」「活用する」「広げる」という学習過程の中で、生徒自身が、自分のこととして、課題を合理的に解決する学習活動が行えるように工夫されている。 『ミニ資料』や『発展』などの読み物や資料で、個に応じて学習内容を深めることができるように工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「学習課題」として単元の課題を示し「見つける」「?マーク」「活用する」「広げる」という学習過程の中で、生徒自身が、自分のこととして、課題を合理的に解決する学習活動が行えるように工夫されている。 「学習のまとめ」では、多様な表現活動を提示し、グループで対話する場面を設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「学習課題」として単元の課題を示し「見つける」「?マーク」「活用する」「広げる」という学習過程の中で、生徒自身が、自分のこととして、課題を合理的に解決する学習活動が行えるように工夫されている。 学習内容の確認や追発問、説明をキャラクター『ウィズ』が語り掛ける形式を用いて、学習を広めたり、深めたりすることができるように工夫されている。 				
補充的な学習・発展的な学習	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごとに「キーワード」としてポイントとなる重要な言葉が示され、巻末には「キーワードの解説」として重要な言葉の解説が設けられている。章末には「学習のまとめ」として章末問題が設けられ、学習を振り返ることができるように配慮されている。 「Dマーク」があるところでは、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごとに「キーワード」としてポイントとなる重要な言葉が示され、章末には「学習のまとめ」として重要な言葉の解説が設けられ、学習を振り返ることができるよう配慮されている。 「WEBマーク」があるところでは、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごとに「キーワード」としてポイントとなる重要な言葉が示され、巻末には「用語解説」として重要な言葉の解説が設けられている。 「web保体情報館」があるところでは、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごとに「キーワード」としてポイントとなる重要な言葉が示され、章末には「章のまとめ」として章末問題が設けられ、学習を振り返ることができるように配慮されている。 「教科書サイトマーク」があるところでは、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。 				

技術

教科用図書選定資料

教科書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名
	東京書籍	新しい技術・家庭技術分野	教育図書	New技術・家庭技術分野	開隆堂	技術・家庭技術分野
目標・内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 技術に関する原理や原則、基礎的な技術の仕組みを学べるよう、適切な内容が取り上げられている。 各編が、「技術の原理・法則と仕組み」、「技術による問題解決」、「社会の発展と技術」の流れで構成されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 技術に関する原理や原則、基礎的な技術の仕組みを学べるよう、適切な内容が取り上げられている。 各編が、「技術の基礎的内容」、「設計・計画」、「社会の発展と技術」の流れで構成されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 技術に関する原理や原則、基礎的な技術の仕組みを学べるよう、適切な内容が取り上げられている。 各編が、「基本的な知識・技能」、「問題解決」、「ふり返り」の流れで構成されている。 			
取人扱権の	<ul style="list-style-type: none"> 全ての生徒の色覚特性に適切するようにデザインされ、見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントが採用されている。 情報モラルと知的財産について、6ページにわたり取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の文字サイズを約12ポイント相当にし、ユニバーサルデザインフォントを用いて見やすく読みやすい紙面となるように工夫されている。 情報モラルと知的財産について、4ページにわたり取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 色覚特性にかかわらず色の区別がしやすいように配色が配慮され、読みやすいユニバーサルデザインフォントが採用されている。 情報モラルと知的財産について、6ページにわたり取り上げられている。 			
内容の程度	<ul style="list-style-type: none"> 技術の原理・法則や基礎的な技術の仕組みの解説では、図や写真を用いて、科学的な思考に基づく知識が身につくように工夫されている。 実習例が豊富に取り上げられ、生徒の発達段階に応じて取り組めるように配慮されている。 情報に関する内容が丁寧に記述されており、実習の内容についても、説明が丁寧である。 	<ul style="list-style-type: none"> 製作・育成・制作では、各工程が丁寧に解説され、教科書の手順に沿って学習をすすめることで、完成できるような実習例が数例取り上げられている。 「見つける」「学ぶ」といった項目を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各内容は図・イラスト・写真などを用いて分かりやすく説明されている。 実習例は、生徒の発達段階に応じて意欲的に取り組めるよう、複数の例が示されている。 導入が生徒にとって身近な視点をもって考えることができるように配慮されている。 			
組織・配列	<ul style="list-style-type: none"> 学習項目は見開き単位でまとめられており、学習指導要領に沿った3つの章構成とすることで、学習を系統的に進めることができるように配列されている。 各編の最初に「小学校」「他教科」とのつながりがまとめられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各編の章構成が学習指導要領に対応している。 各編の各章の最初に「リンク」として小学校や他教科とのつながりが示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各内容は基礎・基本の習得から応用・発展的な学習へと系統的に配列されている。 各編の最初に「小学校」「他教科」との関連がまとめられており、各内容においても関連する学習内容にマークを付けて示している。 			
創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> 日本の伝統的な技術を多数取り上げ、日本の伝統や技術に誇りや愛着を持ち、継承できるよう工夫されている。 社会で活躍する技術に携わる人を「技術の匠」としてコラムで紹介し、ものづくりにおける責任感や倫理観を伝え職業観・勤労観が養われるように工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> スゴ技、技ビトのコラムでは、各地域で活躍する技術者が紹介されている。 「先輩からのメッセージ」を設け、進路について考えることができるように工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ガイダンスのページでは、受け継がれ発展する技術や、日本の技術の歴史が取り上げられている。 技術に関する職業の話題を取り上げることで職業観を育み、勤労を重んずる態度を育むことができるように工夫されている。 			
補充的な学習・発展的な学習	<ul style="list-style-type: none"> 各頁の「Dマーク」を用いて、学習に関わりのある参考資料などが閲覧できるようになっている。 巻末に、小学校でのプログラミング体験をふまえた「今すぐできる!プログラミング手帳」が付属しており、様々なプログラミング言語の基本情報が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各頁の「QRコード」を用いて、学習に関わりのある参考資料などが閲覧できるようになっている。 「発展」コーナーが設けられ、巻末には安全に実習するためのポイントをまとめた「技術ハンドブック」が付属している。 	<ul style="list-style-type: none"> 各頁の「QRコード」を用いて、学習に関わりのある参考資料などが閲覧できるようになっている。 			

家庭

教科用図書選定資料

教科書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名
	東京書籍	新しい技術・家庭家庭分野	教育図書	New技術・家庭家庭分野	開隆堂	技術・家庭家庭分野
目標・内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> QRコードの読み取りで技能動画などを見ることができ、家庭学習などでもオンライン学習ができる。 高校で履修していた「高齢者」に関する内容について、関わり方の工夫が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> QRコードの読み取りで技能動画などを見ることができ、家庭学習などでもオンライン学習ができる。 アニメや漫画に出てくる家族を例とし、様々な家族の形の導入として扱うことで、生徒にとって分かりやすい内容となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> QRコードの読み取りで技能動画などを見ることができ、家庭学習などでもオンライン学習ができる。 自分の関心を、学習前と後で記入できるようになっており、自分で学びに向かう姿勢を確認できる。 			
取人扱権の	<ul style="list-style-type: none"> 各領域で持続可能な社会の構築についてふれられており、生活や社会に学習をつなげられやすいように工夫されている。 オーガニックコットン、フェアトレードなど、世界に目が向けられるような内容が取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> SDGs、食品ロスなどの今日的な課題をとりあげ、生徒が考えるきっかけとなる写真が効果的に掲載されている。 児童労働や、発展途上国の労働環境について、様々な国や地域の現状が扱われており考えるきっかけが与えられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各領域で持続可能な社会の構築についてふれられており、生活や社会に学習をつなげられやすいように工夫されている。 LGBTについての説明があり、実際の取組みが紹介され、性の多様性について考えられる教材となっている。 			
内容の程度	<ul style="list-style-type: none"> 蒸し料理について、蒸し器のない場合の調理方法にもふれるなどの配慮がなされている。 「プロに聞く!」で授業内容と社会との結びつきを考えさせられる内容になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎・基本が練習できる題材から、自分が作りたいものが作れる問題解決的な題材まで幅広く実習題材を取り入れている。 通信販売のチェックポイントやキャッシュレス決済の具体例が多く挙げられており、特にクレジットカードの仕組みについて詳しく説明されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 人間らしい生活と、中学生にとってのワークライフバランスの例が、分かりやすく取り扱われている。 他の学習内容と関連付けて、消費者としての行動などの学びが深められるようになっている。 			
組織・配列	<ul style="list-style-type: none"> 5大栄養素と6つの食品群の表が、重ねられるページで比較できる工夫がある。 学習のまとめ・大切な用語が章末にあり、学習の整理ができるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決的に「見つめる」「学ぶ」「ふり返り」の流れに沿って学習できるように工夫されている。 ガイダンスのページが端的にまとめられており、本編に進みやすい内容になっている。 編ごとにセルフチェックや自分の生活をふりかえるページが設けられている。 学習のふりかえりページが三観点にそって構成されており、指導と評価の一体化がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 他教科との関連が明示されており、教科横断的に学習を深める工夫がされている。 小学校での学びが掲載されている。 巻末に災害についてまとめられたページがあり、学習が深められるようになっている。 			
創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> 裁縫実習のページの下端に、20cmものさが印刷されており、ちょっとした作業で利用しやすく工夫されている。 「活動」としてその学習でおさえるべきポイントを書きこむ、またマンガで読むなど、まとめがしやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 自立度チェックや学習のふりかえりなどのページがあり、自己評価の工夫がなされている。 口絵に年中行事と私たちの暮らしが見開きで一目で、食に関わる写真や、人生のお祝い事としてさまざまな家族の写真が掲載されている。 マスク製作など、新しい生活様式に必要な実習内容が掲載されている。 地域の高齢者と協働するための資料が効果的に掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 食品の概要など実物大写真を使用しており、分かりやすい。 DVDによるデジタル教科書がついているので、ICT教材として扱いやすい。 各ページのQRコードでの動画の数が多く、扱いやすい。 豆知識コーナー等が設けてあり、興味・関心を高める工夫がされている。 			
補充的な学習・発展的な学習	<ul style="list-style-type: none"> 「生活の課題と実践」において、進め方や実践例などが巻末にまとまっており、実態に応じて課題設定しやすくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の人々と協働する方法について、考えていくヒントがPDCAサイクルで示されており、中学生が自分事として考えやすくなっている。 裁縫実習の中に、防災に関する実習内容がとりあげられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 発展的な学習が教科書の巻末にまとまっており、学習しやすい。 「学んだことを次へいかそう」と発展的な内容が巻末にまとめられており、充実している。 			

教科書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名
	東京書籍	NEW HORIZON	開隆堂	Sunshine	三省堂	NEW CROWN	教育出版	ONE WORLD	光村図書	Here We Go!	啓林館	Blue Sky
目標・内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標を達成するため、適切な内容が取り上げられている。 音声や語彙、表現、文法等についての知識が身に付く活動や、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能が身に付く内容となっている。例えば、「Unit Activity」は、コミュニケーションを図るための5領域をバランスよく身に付ける内容となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標を達成するため、適切な内容が取り上げられている。 音声や語彙、表現、文法等についての知識が身に付く活動や、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能が身に付く内容となっている。例えば、「Our Project」は、コミュニケーションを図るための5領域をバランスよく身に付ける内容となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標を達成するため、適切な内容が取り上げられている。 音声や語彙、表現、文法等についての知識が身に付く活動や、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能が身に付く内容となっている。例えば、「Project」は、コミュニケーションを図るための5領域をバランスよく身に付ける内容となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標を達成するため、適切な内容が取り上げられている。 音声や語彙、表現、文法等についての知識が身に付く活動や、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能が身に付く内容となっている。例えば、「Tips」は、コミュニケーションを図るための5領域をバランスよく身に付ける内容となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標を達成するため、適切な内容が取り上げられている。 音声や語彙、表現、文法等についての知識が身に付く活動や、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能が身に付く内容となっている。例えば、「Daily Life」は、コミュニケーションを図るための5領域をバランスよく身に付ける内容となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標を達成するため、適切な内容が取り上げられている。 音声や語彙、表現、文法等についての知識が身に付く活動や、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能が身に付く内容となっている。例えば、「Project」は、コミュニケーションを図るための5領域をバランスよく身に付ける内容となっている。 						
取人権の	<ul style="list-style-type: none"> 教材内容や文章、写真、挿絵、図、資料などが、人権尊重の観点から配慮されている。 国際理解を深め、国際協調の精神を養うことができるように配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 教材内容や文章、写真、挿絵、図、資料などが、人権尊重の観点から配慮されている。 国際理解を深め、国際協調の精神を養うことができるように配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 教材内容や文章、写真、挿絵、図、資料などが、人権尊重の観点から配慮されている。 国際理解を深め、国際協調の精神を養うことができるように配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 教材内容や文章、写真、挿絵、図、資料などが、人権尊重の観点から配慮されている。 国際理解を深め、国際協調の精神を養うことができるように配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 教材内容や文章、写真、挿絵、図、資料などが、人権尊重の観点から配慮されている。 国際理解を深め、国際協調の精神を養うことができるように配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 教材内容や文章、写真、挿絵、図、資料などが、人権尊重の観点から配慮されている。 国際理解を深め、国際協調の精神を養うことができるように配慮されている。 						
内容の程度	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の発達段階に即して、各学年において身近な場面から社会的な場面へと興味・関心をもって学習が進められるよう配慮されている。 各レッスンに掲載されている「コラム」欄では、トピックの詳しい解説等が書かれている。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の発達段階に即して、各学年において身近な場面から社会的な場面へと興味・関心をもって学習が進められるよう配慮されている。 「Scenes」というマンガ形式で言語材料を場面で導入でき、異なる言語材料を場面で関連付けながら、まとめて学べる仕組みになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の発達段階に即して、各学年において身近な場面から社会的な場面へと興味・関心をもって学習が進められるよう配慮されている。 文構造等は、各Lessonの「GETPOINT」で、基本文が明示され、体系的かつ系統的に配列されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の発達段階に即して、各学年において身近な場面から社会的な場面へと興味・関心をもって学習が進められるよう配慮されている。 基本文について説明が簡潔であり、使い慣れるために「Tool kit」が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の発達段階に即して、各学年において身近な場面から社会的な場面へと興味・関心をもって学習が進められるよう配慮されている。 帯教材「Active Words」でカテゴリごとに語彙を整理し、言語活動に関連させて習得、活用できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の発達段階に即して、各学年において身近な場面から社会的な場面へと興味・関心をもって学習が進められるよう配慮されている。 「Target」で基本となる文法事項を繰り返し活用することで、定着を図る仕組みになっている。 						
組織・配列	<ul style="list-style-type: none"> 目的や内容を踏まえて、教科横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織配列されている。 Unitでは、4技能5領域をバランスよく学べるページ割りや構成がされている。文法に関わるページが別途設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的や内容を踏まえて、教科横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織配列されている。 「とびら」、「Scenes」、「Think」、「Retell」、「Interact」という構成になっている。特に、「Scenes」頁では、進出表現が場面を表す絵(2コママンガ)を使って導入され、言語の使用場面がより明確に示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的や内容を踏まえて、教科横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。 習得すべき内容や養いたい力が各ページで明確に示されており、学びのプロセスを見える化している。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的や内容を踏まえて、教科横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織配列されている。 各Lessonは、Partの学習後「Review」、「task」、「Grammar」の3つのコーナーで理解を深める構成になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的や内容を踏まえて、教科横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。 各Unitは、扉→Part→Goalという構成で一貫し、各Partで基礎的な知識・技能を習得し、Goalで技能統合的な活動に取り組む構成となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的や内容を踏まえて、教科横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。 「Unit扉」、「Part」、「Read&Think」、「Express Yourself」と段階を追って、無理なく学習できる構成になっている。 						
創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> 英語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、主体的、対話的で深い学びが実現するよう工夫されている。 1年冒頭の「Unit0」などで、小学校で学んだ英語表現を復習できるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 英語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、主体的、対話的で深い学びが実現するよう工夫されている。 1年冒頭の「Get Ready」などで、小学校で学んだ英語表現を復習できるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 英語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、主体的、対話的で深い学びが実現するよう工夫されている。 1年冒頭の「Starter」などで、小学校で学んだ英語表現を復習できるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 英語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、主体的、対話的で深い学びが実現するよう工夫されている。 1年冒頭の「Springboard」などで、小学校で学んだ英語表現を復習できるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 英語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、主体的、対話的で深い学びが実現するよう工夫されている。 1年冒頭の「Let's Be Friends!」などで、小学校で学んだ英語表現を復習できるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 英語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、主体的、対話的で深い学びが実現するよう工夫されている。 1年冒頭の「Let's Start」などで、小学校で学んだ英語表現を復習できるようになっている。 						
補足的な学習・発展的な学習	<ul style="list-style-type: none"> 学習した内容を確実に習得できるよう補充したり、学んだことを実際のコミュニケーションに活用したりできるよう配慮されている。 二次元コードを設けて音声にアクセスでき、家庭学習でも活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習した内容を確実に習得できるよう補充したり、学んだことを実際のコミュニケーションに活用したりできるよう配慮されている。 二次元コードを設けて音声にアクセスでき、家庭学習でも活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習した内容を確実に習得できるよう補充したり、学んだことを実際のコミュニケーションに活用したりできるよう配慮されている。 二次元コードを設けて音声にアクセスでき、家庭学習でも活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習した内容を確実に習得できるよう補充したり、学んだことを実際のコミュニケーションに活用したりできるよう配慮されている。 二次元コードを設けて音声にアクセスでき、家庭学習でも活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習した内容を確実に習得できるよう補充したり、学んだことを実際のコミュニケーションに活用したりできるよう配慮されている。 二次元コードを設けて音声にアクセスでき、家庭学習でも活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習した内容を確実に習得できるよう補充したり、学んだことを実際のコミュニケーションに活用したりできるよう配慮されている。 二次元コードを設けて音声にアクセスでき、家庭学習でも活用することができる。 						

道徳

教科用図書選定資料

教科書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名
	東京書籍	新訂 新しい道徳	教育出版	中学道徳 とびだそう未来へ	光村図書	中学道徳 きみがいちばんひかるとき	日本教出版	新・中学道徳 あすを生きる	学研教育 みらい	新・中学生の道徳 明日への扉	廣済堂 あかつき	中学生の道徳 自分を見つめる 自分を考える 自分をのばす	日本教科書	道徳 中学校 生き方から学ぶ 生き方を見つめる 生き方を創造する
目標・内容の 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 道徳教育の目標を達成するために、適切な内容が取り上げられている。 教材の冒頭に主題となるテーマが示されており、生徒が見通しを持ちながら考えることができるよう取り扱われている。 		<ul style="list-style-type: none"> 道徳教育の目標を達成するために、適切な内容が取り上げられている。 教材の冒頭に導入の問いかけが示されており、生徒が見通しを持ちながら考えることができるよう取り扱われている。 		<ul style="list-style-type: none"> 道徳教育の目標を達成するために、適切な内容が取り上げられている。 教材の冒頭に内容項目が示されており、生徒が見通しを持ちながら考えることができるよう取り扱われている。 		<ul style="list-style-type: none"> 道徳教育の目標を達成するために、適切な内容が取り上げられている。 教材の冒頭に内容項目と主題を想起されるキーワードがあり、生徒が見通しを持ちながら考えることができるよう取り扱われている。 		<ul style="list-style-type: none"> 道徳教育の目標を達成するために、適切な内容が取り上げられている。 教材の冒頭に導入のキーフレーズが示されており、生徒が見通しを持ちながら考えることができるよう取り扱われている。 		<ul style="list-style-type: none"> 道徳教育の目標を達成するために、適切な内容が取り上げられている。 教材の冒頭に主題や発問を示さないことで、生徒自らの気づきや考えを促そうとすることができるよう取り扱われている。 		<ul style="list-style-type: none"> 道徳教育の目標を達成するために、適切な内容が取り上げられている。 教材の冒頭に主題や発問を示さないことで、生徒自らの気づきや考えを促そうとすることができるよう取り扱われている。 	
人権の 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 文章、写真、挿絵、図、資料など、人権尊重の観点に基づき、適切に取り扱われている。 情報モラルについて、全学年で適切に取り扱われており、SNSを使う際のルールや人間関係への影響などが取り上げられている。 		<ul style="list-style-type: none"> 文章、写真、挿絵、図、資料など、人権尊重の観点に基づき、適切に取り扱われている。 情報モラルについて、全学年で適切に取り扱われており、SNSを使う際のルールや人間関係への影響などが取り上げられている。 		<ul style="list-style-type: none"> 文章、写真、挿絵、図、資料など、人権尊重の観点に基づき、適切に取り扱われている。 情報モラルについて、全学年で適切に取り扱われており、SNSを使う際のルールや人間関係への影響などが取り上げられている。 		<ul style="list-style-type: none"> 文章、写真、挿絵、図、資料など、人権尊重の観点に基づき、適切に取り扱われている。 情報モラルについて、全学年で適切に取り扱われており、SNSを使う際のルールや人間関係への影響などが取り上げられている。 		<ul style="list-style-type: none"> 文章、写真、挿絵、図、資料など、人権尊重の観点に基づき、適切に取り扱われている。 情報モラルについて、全学年で適切に取り扱われており、SNSを使う際のルールや人間関係への影響などが取り上げられている。 		<ul style="list-style-type: none"> 文章、写真、挿絵、図、資料など、人権尊重の観点に基づき、適切に取り扱われている。 情報モラルについて、全学年で適切に取り扱われており、SNSを使う際のルールや人間関係への影響などが取り上げられている。 		<ul style="list-style-type: none"> 文章、写真、挿絵、図、資料など、人権尊重の観点に基づき、適切に取り扱われている。 情報モラルについて、全学年で適切に取り扱われており、SNSを使う際のルールや人間関係への影響などが取り上げられている。 	
内容の 程度	<ul style="list-style-type: none"> 発達の段階を考慮し、指導のねらいに即した内容となっている。 全学年でいじめについて取り扱われており、いじめを未然に防ぎ、いじめをしない、させない心を育むよう配慮されている。また、全学年で直接いじめを扱った教材や関連する教材が取り上げられており、3年では、資料も取り上げられている。 		<ul style="list-style-type: none"> 発達の段階を考慮し、指導のねらいに即した内容となっている。 全学年でいじめについて取り扱われており、いじめを未然に防ぎ、いじめをしない、させない心を育むよう配慮されている。また、全学年で直接いじめを扱った教材や関連する教材、資料が取り上げられている。 いじめや差別について考える複数の教材を組み合わせたユニットが作られている。 		<ul style="list-style-type: none"> 発達の段階を考慮し、指導のねらいに即した内容となっている。 全学年でいじめについて取り扱われており、いじめを未然に防ぎ、いじめをしない、させない心を育むよう配慮されている。また、全学年で直接いじめを扱った教材や関連する教材、資料が取り上げられている。 他教科で学習する内容とつながる教材が多く、学校教育全体を通じて道徳教育をおこなうことができる内容となっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 発達の段階を考慮し、指導のねらいに即した内容となっている。 全学年でいじめについて取り扱われており、いじめを未然に防ぎ、いじめをしない、させない心を育むよう配慮されている。また、全学年で直接いじめを扱った教材や関連する教材、資料が取り上げられており、必要な時期に合わせて、複数の教材が配置されている。 「社会に開かれた教育課程」で求められる「社会への参画」「将来の生き方」に関わるユニットが設けられている。 		<ul style="list-style-type: none"> 発達の段階を考慮し、指導のねらいに即した内容となっている。 全学年でいじめについて取り扱われており、いじめを未然に防ぎ、いじめをしない、させない心を育むよう配慮されている。また、全学年で直接いじめを扱った教材や関連する教材、資料が取り上げられている。 近畿地方、大阪府に関連した人物や事象等が複数掲載されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 発達の段階を考慮し、指導のねらいに即した内容となっている。 全学年でいじめについて取り扱われており、いじめを未然に防ぎ、いじめをしない、させない心を育むよう配慮されている。また、全学年で直接いじめを扱った教材や関連する教材、資料が取り上げられている。 		<ul style="list-style-type: none"> 発達の段階を考慮し、指導のねらいに即した内容となっている。 全学年でいじめについて取り扱われており、いじめを未然に防ぎ、いじめをしない、させない心を育むよう配慮されている。また、全学年で直接いじめを扱った教材や関連する教材、資料が取り上げられている。 	
組織・ 配列	<ul style="list-style-type: none"> 各学年とも、教材が4つの視点でバランスよく組織・配列されており、複数の教材で設定されている内容項目がある。 子どもの生活実態に合わせることができるよう、行事の時期の関係を配慮して教材の配列に工夫している。 		<ul style="list-style-type: none"> 各学年とも、教材が4つの視点でバランスよく組織・配列されており、複数の教材で設定されている内容項目がある。 1年間を3つのシーズンに分け、その時に必要であると考えられる教材が取り上げられている。 		<ul style="list-style-type: none"> 各学年とも、教材が4つの視点でバランスよく組織・配列されており、複数の教材で設定されている内容項目がある。 道徳ノートは1教材1ページの構成になっており、毎時間の学びを分かりやすく積み重ねられるよう配列されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 各学年とも、教材が4つの視点でバランスよく組織・配列されており、複数の教材で設定されている内容項目がある。 道徳ノートは1教材1ページの構成になっており、毎時間の学びを分かりやすく積み重ねられるよう配列されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 各学年とも、教材が4つの視点でバランスよく組織・配列されており、複数の教材で設定されている内容項目がある。 子どもの生活実態に合わせ、行事の時期を考慮した教材の配列がされている。 		<ul style="list-style-type: none"> 各学年とも、教材が4つの視点でバランスよく組織・配列されており、複数の教材で設定されている内容項目がある。 内容項目に沿って4章に分けられており、各校で教材の順番を選ぶことができるようになっている。 			
創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> 教材ごとに「考えよう」「自分を見つめよう」や、学期末に振り返りを記録する「自分の学びを振り返ろう」などが設けられ、自らの成長を実感したり、課題や目標を見つけたりすることができるよう工夫されている。 各教材に考えを記入する欄があり、自身の考えを深めると同時にグループで意見交換ができるようになっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 教材ごとに「学びの道しるべ」や、学期末、学年末に振り返りを記録する「道徳の学びを振り返ろう」「1年間の学びを振り返ろう」などが設けられ、自らの成長を実感したり、課題や目標を見つけたりすることができるよう工夫されている。 付録にある「学びのひろば」では小学校で取り上げられている教材を再掲載し、考えの変化からより深い学びにつなげることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 教材ごとに「考えよう」「見方を変えて」「つなげよう」や、学期末に振り返りを記録する「学びの記録」などが設けられ、自らの成長を実感したり、課題や目標を見つけたりすることができるよう工夫されている。 道徳ノートで、自分のことや友達の考えを書く欄、心に残った教材を振り返る欄などがあり、自己の成長や学びを見つめられるよう工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 教材ごとに「考えよう」「自分を見つめよう」や、学期末に振り返りを記録する「道徳科で学んだことを振り返ってみよう」などが設けられ、自らの成長を実感したり、課題や目標を見つけたりすることができるよう工夫されている。 道徳ノートで、自分のことや友達の考えを書く欄、心に残った教材を振り返る欄などがあり、自己の成長や学びを見つめられるよう工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 教材ごとに「考えよう」や、各学期末、学年末に振り返りを記録する「学びの記録」「心の四季」などが設けられ、自らの成長を実感したり、課題や目標を見つけたりすることができるよう工夫されている。 別冊の道徳ノートにも読み物や資料が載っており、考えを深めて記入するページの設定がある。 		<ul style="list-style-type: none"> 教材ごとに「考える・話し合う」や、学期末、学年末に振り返りを記録する「心に残っている授業の記録」などが設けられ、自らの成長を実感したり、課題や目標を見つけたりすることができるよう工夫されている。 別冊の道徳ノートにも読み物や資料が載っており、考えを深めて記入するページの設定がある。 		<ul style="list-style-type: none"> 教材ごとに「考え、話し合ってみよう、そして、深めよう」や、学年末に振り返りを記録する「心の成長を振り返りましょう」「私の道徳記録」などが設けられ、自らの成長を実感したり、課題や目標を見つけたりすることができるよう工夫されている。 	
発展的な 学習	<ul style="list-style-type: none"> 教材を補充する「PLUS」や、巻末の「テーマで振り返ろう」では、多面的・多角的な視点から振り返って考えたり、更に新しい見方や考え方を生み出したりできるよう配慮されている。 「Dマーク」の掲載されているページでは、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 教材を補充する特設ページや、巻末の「これからを生きる皆さんへ」では、多面的・多角的な視点から振り返って考えたり、更に新しい見方や考え方を生み出したりできるよう配慮されている。 「まなびリンク」の掲載されているページでは、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 教材を補充する「広げよう」や、教材の後の「見方を変えて」では、多面的・多角的な視点から振り返って考えたり、更に新しい見方や考え方を生み出したりできるよう配慮されている。 「二次元コード」の掲載されているページでは、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 教材を補充する「プラットフォーム」や、巻末の詩では、多面的・多角的な視点から振り返って考えたり、更に新しい見方や考え方を生み出したりできるよう配慮されている。 「マーク」の掲載されているページでは、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 教材を補充する「クローズアップ」「クローズアッププラス」や巻頭の言葉では、多面的・多角的な視点から振り返って考えたり、更に新しい見方や考え方を生み出したりできるよう配慮されている。 「マーク」の掲載されているページでは、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 教材を補充する「thinking」や巻末資料、『中学生の道徳ノート』などでは、多面的・多角的な視点から振り返って考えたり、更に新しい見方や考え方を生み出したりできるよう配慮されている。 「マーク」の掲載されているページでは、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 教材を補充する「もっと知りたい」や、「込められた思い」では、多面的・多角的な視点から振り返って考えたり、更に新しい見方や考え方を生み出したりできるよう配慮されている。 	